

2025年度

シ ラ バ ス

桐生大学

別科 助産専攻

講義コード	80010001
講義名	助産学概論
(副題)	
開講責任部署	別科助産専攻
代表ナンバリングコード	UBR6101
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	助産師の臨床経験を活かし、助産師を取り巻く社会的背景、求められる資質と責務について解説を行う。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	古賀 裕子	指定なし
教員	黒澤 やよい	指定なし
教員	松原 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

助産とはなにか、その本質と意義と社会的責務、助産の歴史、助産の対象等の理解を深めることを基盤に助産師活動や助産師教育の現状・研究などについて学ぶ。本科目は専門職としての助産師の業務、責務、倫理、役割への認識を深めることを目標とする。受胎調節実地指導員講習の必修科目「総論」に該当している。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、助産師としての倫理観を深めるとともに専門職としての自律と責任を認識し助産師活動を実践するための知識修得を目指すものとする。

到達目標

1. 助産の本質、意義について基本的理念、普遍的原理原則の視点で考えることができる。
2. 日本の助産師教育の実情を知り、今後の展望について考えることができる。
3. 専門職助産師のあり方について学問的、法的、倫理的に述べるができる。
4. 母子保健の歴史と現状と助産師の役割を関連付けて述べるができる。
5. 求められる助産師像について考え、今後の展望を述べるができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブ ラーニング の内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	黒澤 やよ い	助産師教育カリキュラムの概要 助産の概念 出産の変遷と主体の変化、助産の定義と助産の 対象、助産師の定義 *簡易版シラバス持参		予習90分：助産学講 座1 1章Aを読む 復習90分：配布資料 を見直す
				予習90分：助産学講

第2回	黒澤 やよい	助産師の倫理 リプロダクティブヘルス・ライツの概念、倫理的規定、母体保護法の成立変遷、助産師資格の取得		座1 1章B2章A4章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第3回	松原 直樹	助産師の業務と責務① わが国の法の構造、助産に関わる法律、母子保健の関係法規 (医療法、保助看法、医師法、母子保健法、児童福祉法、地域保健法、戸籍法、刑法、民法、労働法、就業規則)		予習90分：助産学講座1 2章B助産管理2章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第4回	松原 直樹	助産師の業務と責務② 産科医療補償制度の概要と事例、産科に関連した医療訴訟判例からの検討		予習90分：助産学講座1 2章B助産管理2章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第5回	黒澤 やよい	助産学を構成する理論と研究 実践を支える理論、対象を理解するための理論		予習90分：助産学講座1 3章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第6回	黒澤 やよい	母子保健の動向 母子保健の歴史、動向と諸制度		予習90分：助産学講座1 5章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第7回	古賀 裕子	助産の歴史と変遷、助産の文化論	ディスカッション	予習90分：助産学講座1 6章を読む 復習90分：配布資料を読む
第8回	古賀 裕子	助産師教育/卒後教育 助産師教育の変遷と現状/卒後教育について	ディスカッション	予習90分：助産学講座1 7章を読む 復習90分：配布資料を見直す

教科書

助産学講座1 助産学概論 我部山キヨ子ら編、助産学講座10 助産管理 我部山キヨ子ら編 医学書院、

参考書

助産学講座10 助産管理 我部山キヨ子ら 医学書院、国民衛生の動向、母子保健ハンドブック、母子保健の主なる統計 母子保健事業団、我が国の母子保健 母子保健事業団

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 筆記試験とレポートで100%

課題等に対する フィードバックの方法

授業中での質問や問題提議を随時受け付けます。積極的な学生間討議が各学生の学修を深める機会となるため講師からの発問も積極的に行ってゆきたい。

履修のポイント

様々な方向から関心を持ち、知識を広げることで助産師に求められている資質を高めることにつながります。

オフィス・アワー

9～18時の在室時、kurosawa-ya@kiryu-u.ac.jp koga-yu@kiryu-u.ac.jp

科目区分

基礎領域

講義コード	80020001
講義名	人間の性と生殖
(副題)	
開講責任部署	別科助産専攻
代表ナンバリングコード	UBR6102
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	助産師の臨床経験を活かし、女性の健康と体の仕組み、女性を取り巻く健康問題について解説を行う。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	立木 歌織	指定なし

授業の概要と教育目標

いのちを育む機能を持つ女性のからだの構造と機能、ライフサイクルを通しての体の変化、性的健康を脅かす問題、社会的な性をめぐる問題について学ぶ。なお本科目は、健やかな発達と豊かな母性の発展をサポートするための知識を養うことを目標とする。また、受胎調節実地指導員講習の必修科目「受胎調節の基礎」に該当している。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、女性のセクシュアリティに関する発達課題や健康問題について身体的、心理・社会的に理解を深め、対象の個別性を尊重できる姿勢を培うことを目指すものとする。

到達目標

1. 女性の性・生殖に関する解剖生理的側面について説明できる。
2. 女性の健康を守るためのセルフケアと健康管理方法について説明できる。
3. 女性を取り巻く性的健康を脅かす健康問題について述べるができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	立木歌織	女性の体の仕組み① 生殖器の解剖と性差、分娩との関連性		予習90分：助産学講座2 1章Aを読む 復習90分：配布資料を見直す
第2回	立木歌織	女性の体の仕組み② 性周期とホルモン・妊娠とホルモン		予習90分：助産学講座2 1章BCを読む 復習90分：配布資料を見直す
3	立木	ライフサイクル各期における疾患とケア		予習90分：助産学講座2 8章9章,助産学講座5 4-6章,「病気が見えるvol.9」の該当

第 回	歌織	月経異常・婦人科腫瘍・乳腺疾患・加齢に伴う変化		部分を読む 復習90分：配布資料を見直す
第4回	立木歌織	女性のフィジカルアセスメント 内診・腔鏡診・細胞診・性感 染症検査・超音波検査・栄 養評価		予習90分：助産学講座2 8章9章を読む 「病気が見えるvol.9」の該当部分を読む 復習90分：配布資料を見直す
第5回	立木歌織	性科学の概念とセクシュアリティ 機能性障害・性同一性障 害・妊娠と性行動		予習90分：助産学講座2 2章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第6回	立木歌織	性感染症とヘルスプロモーション 性感染症の疫学、診断とケア、妊娠・出産・育児と性 感染症		予習90分：助産学講座2 6章7章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第7回	立木歌織	性と生殖をめぐる問題① 月経障害・不妊・DV(ドメ スティックバイオレンス) 人工妊娠中絶	ディスカッション	予習90分：助産学講座5 4章5章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第8回	立木歌織	性と生殖をめぐる問題② セクシュアルヘルスとリス ク回避行動 性教育・家族計画と避妊法	ディスカッション	予習90分：助産学講座5 4-7章、助産学 講座3 7章Aを読む 復習90分：配布資料を見直す

教科書

助産学講座2 基礎助産学 母子の基礎科学 我部山キヨ子ら編、助産学講座3 基礎助産学 母子の健康科学 我部山キヨ子ら編、助産学講座5 助産診断・技術学I 医学書院、病気が見えるvol.9 第4版(婦人科 乳腺外科) メディックメディア

参考書

プリンシプル産科婦人科1(婦人科・乳腺外科) メジカルビュー社

成績評価の方法・基準

単位認定試験60点以上 筆記試験100%

課題等に対する

フィードバックの方法

授業中での質問や問題提議を随時受け付けます。積極的な学生間討議が各学生の学修を深める機会となるため講師からの発問も積極的に行ってゆくので考えを発表してほしい。

履修のポイント

生殖器に関する解剖学・生理学および母性看護学等の復習とまとめが役立ちます。新聞を見て時事問題をとらえることで女性の社会化の現状に関心が深められることを期待します。

オフィス・アワー

授業中にご相談ください。一緒に考えます。

科目区分

基礎領域

講義コード	80030001									
講義名	妊娠・分娩・産褥の生理									
(副題)										
開講責任部署	別科助産専攻									
代表ナンバリングコード	UBR6103									
講義開講時期	前期									
講義区分	講義									
基準単位数	1									
代表曜日										
代表時限										
必修/選択	必修									
実務経験のある教員の有無	有									
実務経験のある教員の経歴と授業内容	助産師の臨床経験を活かし、妊娠・分娩・産褥各期の生理的経過を解剖生理学を元にイメージしやすく解説する。									
学年	1学年									
担当教員										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>氏名</th> <th>所属</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教員</td> <td>木村 優子</td> <td>指定なし</td> </tr> <tr> <td>教員</td> <td>古賀 裕子</td> <td>指定なし</td> </tr> </tbody> </table>		職種	氏名	所属	教員	木村 優子	指定なし	教員	古賀 裕子	指定なし
職種	氏名	所属								
教員	木村 優子	指定なし								
教員	古賀 裕子	指定なし								

授業の概要と教育目標

妊娠・分娩・産褥の生理的経過を理解し、各時期の母子に起こる生理的変化に対応するための基盤となる知識を復習を踏まえながら学ぶ。また正常経過を知る事により、正常から逸脱する可能性があること、逸脱していることが判断できるための知識を関連づけて学ぶ。なお本科目は、基礎看護教育での学びを基盤に、助産をするうえで必要な解剖、生理的な知識を深く理解し、正常経過をたどる妊産褥婦のケアに際して、根拠となる知識を活用して正常か異常かの見極めができることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、EBM(Evidence Based Midwifery)、NB(Narrative Based Midwifery)の視点から母子の健康レベルに応じた的確な支援・指導を行うための知識修得を目指す。

到達目標

1. 胎児の発育と妊娠の成立について理解する。
2. 妊娠の経過に伴う母体の変化について理解する。
3. 分娩の機序と母子に及ぼす影響について理解する。
4. 産褥の退行性変化と進行性変化について理解する。
5. 各期に起こりやすい逸脱と観察の必要性について理解する。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	木村 優子	妊娠の生理 胎児の成長と発達 妊娠の概念、妊娠の成立、妊娠の維持、胎児の成長と発達	予習90分：助産学講座2 1章P17-39,P40-43, 助産学講座6 2章P42-62を読む 復習90分：配布資料を見直す
		妊娠の生理 胎児の発育と胎児付属物 妊娠に伴う母体の変化	予習90分：助産学講座2 1章P51-57,助産学講

第2回	木村優子	胎児の発育と生理、胎児付属物、妊娠による母体の変化	座6 2章P42-79を読む 復習90分：配布資料を見直す
第3回	木村優子	妊娠の生理 妊娠期の心理的・社会的変化 妊娠期の心理的・社会的変化	予習90分：助産学講座4 2章P76-78, 助産学講座6 5章P265-269を読む 復習90分：配布資料を見直す
第4回	古賀裕子	分娩の生理 分娩に関する定義と種類 分娩の3要素（娩出力、産道、娩出物）	予習90分：助産学講座7 1章P4-27を読む 復習90分：配布資料を見直す
第5回	古賀裕子	分娩の生理 分娩に関する定義と種類 分娩の3要素（娩出力、産道、娩出物）	予習90分：助産学講座7 1章P4-27を読む 復習90分：配布資料を見直す
第6回	古賀裕子	分娩の生理 分娩が母体・胎児に及ぼす影響 分娩期のフィジカルアセスメント 分娩期の心理・社会的変化	予習90分：助産学講座7 2章P28-85を読む 復習90分：配布資料を見直す
第7回	木村優子	産褥期の生理 産褥期の全身の変化と特徴	予習90分：助産学講座7 9章P234-236を読む 復習90分：配布資料を見直す
第8回	木村優子	産褥期の生理 産褥期の局所的な変化と特徴	予習90分：助産学講座7 9章P237-240を読む 復習90分：配布資料を見直す

教科書

助産学講座2 基礎助産学 (2) 母子の基礎科学、助産学講座6 助産診断・技術学II (1) 妊娠期、助産学講座7 助産診断・技術学II(2)分娩期・産褥期 我部山キヨ子ら編 医学書院、プリンシプル産科婦人科2 メジカルビュー、病気がみえるvol.10産科 メディックメディア

参考書

助産師基礎教育テキスト 第4巻 妊娠期の診断とケア、第6巻 産褥期のケア 新生児期・乳幼児期のケア 日本看護協会出版会

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 筆記試験 (100%)

課題等に対するフィードバックの方法

授業中での質問や問題提議を随時受け付け。教科書や配布プリントは熟読し理解しておくように。診断・技術学・助産学実習において質問し、把握状況を確認する。

履修のポイント

生殖器に関する解剖学・生理学および母性看護学等の復習とまとめが役立ちます。今後の学習の基礎となる科目のため、しっかり把握しておくことを期待します。

オフィス・アワー

9～18時の在室時 kimura-yu@kiryu-u.ac.jp koga-yu@kiryu-u.ac.jp

科目区分

基礎領域

				る。
第2回	境原三津夫	ハイリスク妊娠（1） 妊娠高血圧症候群（HDP）子 癩、HELLP症候群、常位胎盤早期剥 離 切迫早産・早産、絨毛膜羊膜炎、前期 破水	事例を提示しディスカッション をしながら講義を進めていく。	予習90分。 講義資料を 読み学習す る。 復習90分。 講義の内容 を踏まえ、 資料を見直 し復習す る。
第3回	境原三津夫	ハイリスク妊娠（2） 前置胎盤、癒着胎盤、 子宮内胎児発育遅延、羊水過多・羊水 過少	事例を提示しディスカッション をしながら講義を進めていく。	予習90分。 講義資料を 読み学習す る。 復習90分。 講義の内容 を踏まえ、 資料を見直 し復習す る。
第4回	境原三津夫	ハイリスク妊娠（3） 多胎妊娠、血液型不適合妊娠、骨盤位 生殖補助医療による妊娠	事例を提示しディスカッション をしながら講義を進めていく。	予習90分。 講義資料を 読み学習す る。 復習90分。 講義の内容 を踏まえ、 資料を見直 し復習す る。
第5回	境原三津夫	ハイリスク妊娠（4）合併症妊娠 呼吸器疾患、循環器疾患、血液疾患、 膠原病、甲状腺疾患、精神疾患、代謝 異常	事例を提示しディスカッション をしながら講義を進めていく。	予習90分。 講義資料を 読み学習す る。 復習90分。 講義の内容 を踏まえ、 資料を見直 し復習す る。
第6回	境原三津夫	母子感染症 風疹、サイトメガロ、伝染性症紅斑、 成人T細胞白血病（ATL）、水痘、単純 ヘルペス、B型肝炎、C型肝炎、エイ ズ（HIV感染）、梅毒、GBS、トキソ プラズマ、クラミジア	事例を提示しディスカッション をしながら講義を進めていく。	予習90分。 講義資料を 読み学習す る。 復習90分。 講義の内容 を踏まえ、 資料を見直 し復習す る。
	境原	分娩期の異常 微弱陣痛、過強陣痛、児頭骨盤不均衡 （CPD）、胎位異常、胎勢異常、進入 の異常、肩甲難産、臍帯の異常、胎児	事例を提示しディスカッション	予習90分。 講義資料を 読み学習す る。 復習90分。

第7回	三津夫	機能不全、仰臥位低血圧症候群 分娩時裂傷（子宮破裂、膣会陰裂傷、 血腫）子宮内反症、弛緩出血、羊水塞 栓、産科DIC	をしながら講義を進めていく。	講義の内容 を踏まえ、 資料を見直 し復習す る。
第8回	境原 三津夫	産褥期の異常 産褥熱、深部静脈血栓症、産褥精神障 害	事例を提示しディスカッション をしながら講義を進めていく。	予習90分。 講義資料を 読み学習す る。 復習90分。 講義の内容 を踏まえ、 資料を見直 し復習す る。

教科書

無。事前に講義資料を配布する。
図書館に「産科」に関する書籍がそろえてあるので必要に応じて参考にしてください。

参考書

「病気が見える」（産科編）メディックメディア
その他、講義の中で適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 筆記試験100%

課題等に対する

フィードバックの方法

講義時に小テストを行い理解度を評価する。小テストの結果は学生にフィードバックして学習の見直しに活用できるよう配慮する。

履修のポイント

事前に講義資料を配布するので、予習により講義内容をおおまかに把握した上で授業に参加することが望ましい。また、授業当日に復習することで理解が深まり、知識が強固に固定されるので、積極的に復習すること。一度の読み、聞きでは理解できなくても、繰り返すことで理解できることが多々あるので、産科異常のメカニズムにこだわって、学習すること。

オフィス・アワー

在室時、いつでも可。メールにてアポイントをとるのが望ましい。
質問にはメールでも対応します。

科目区分

基礎領域

第2回	針谷晃	<p>新生児の管理と生理、新生児蘇生 新生児の呼吸器疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新生児の養護と管理、家族への援助、母子相互作用、医療事故、新生児医療と医の倫理 体温調節と保温、栄養の基礎と臨床 ・新生児蘇生・新生児の呼吸器疾患（呼吸窮迫症候群、胎便吸引症候群、新生児一過性多呼吸、新生児慢性肺疾患、気胸） 		<p>予習90分：新生児学入門第4～11章を読む。復習90分：配布資料を見直す</p>
第3回	針谷晃	<p>新生児の循環器疾患 内分泌疾患 代謝系疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新生児期に発症する循環器疾患（チアノーゼ型先天性心疾患、新生児遷延性肺高血圧症） ・クレチン症等について、先天代謝異常スクリーニング、低血糖、先天性副腎皮質過形成 		<p>予習90分：新生児学入門第12～14章を読む。復習90分：配布資料を見直す</p>
第4回	針谷晃	<p>消化器疾患、黄疸、血液疾患</p> <p>新生児期の消化器疾患・黄疸をきたす疾患（特発性黄疸、溶血性疾患、遷延性黄疸、先天性胆道閉鎖症）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多血症、新生児メレナとビタミンK欠乏性出血症について 		<p>予習90分：新生児学入門第15～17章を読む。復習90分：配布資料を見直す</p>
第5回	針谷晃	<p>免疫・感染症・神経疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新生児期の重要な感染症（TORCH症候群、敗血症、ウイルス感染症、B型肝炎母子感染予防） ・新生児期の神経疾患（新生児仮死、低酸素性虚血性脳症、頭蓋内出血、髄膜炎）について 		<p>予習90分：新生児学入門第18・19章を読む。復習90分：配布資料を見直す</p>
第6回	針谷晃	<p>先天異常と遺伝 主要疾患の病態と管理 災害と新生児医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奇形と奇形症候群・遺伝カウンセリング ・未熟児網膜症・新生児壊死性腸炎・超低出生体重児・胎内発育遅延児 ・乳幼児突然死症候群・災害と新生児医療 		<p>予習90分：新生児学入門第20～22章を読む。復習90分：配布資料を見直す</p>
第7回	針谷晃	<p>新生児蘇生法 実習①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前説明 ・講義、演習 	<p>蘇生法デモンストラーション</p> <p>事例に基づく蘇生法の実技</p>	<p>予習90分：新生児蘇生法テキストを読む</p> <p>準備:活動しやすい服装</p> <p>復習90分：新生児蘇生法テキストを見直す</p>
第8回	針谷晃	<p>新生児蘇生法 実習②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前説明 ・講義・演習 	<p>蘇生法デモンストラーション</p> <p>事例に基づく蘇生法の実技</p>	<p>予習90分：新生児蘇生法テキストを読む</p> <p>準備:活動しやすい服装</p> <p>復習90分：新生児蘇生法テキストを見直す</p>

教科書

『新生児学入門 第6版』原著：仁志田博司、編集：高橋尚人・豊島勝明 助産診断・技術学II[3]「新生児期・乳幼児期」医学書院 「日本版救急蘇生ガイドライン2020に基づく 新生児蘇生法テキスト第4版」監修：細野茂春 メディカルビュー社

参考書

無

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上

筆記試験100%:助産師試験の過去問（2007年～2024年）から、授業で取り上げたものを中心に22題を出題。「日本版救急蘇生ガイドライン2020に基づく 新生児蘇生法テキスト 第4版」の問題集73題から3題を出題。

課題等に対する フィードバックの方法

授業中での質問や問題提議を随時受け付ける。蘇生法の演習では、体験型のロールプレイを実施する。

履修のポイント

NICU実習や分娩時の新生児ケアと観察の実践をイメージ出来るよう取り組んでください。

オフィス・アワー

授業開始前・中・後での質問や問題提議を随時受け付けます。

科目区分

基礎領域

講義コード	80060001	
講義名	母子の栄養科学	
(副題)		
開講責任部署	別科助産専攻	
代表ナンバリングコード	UBR6106	
講義開講時期	前期	
講義区分	講義	
基準単位数	1	
代表曜日		
代表時限		
必修/選択	必修	
実務経験のある教員の有無	有	
実務経験のある教員の経歴と授業内容	管理栄養士としての県庁・保健所・教育現場での勤務経験に基づき、母子の健康・栄養課題にあわせた栄養管理について具体例を挙げながら解説する。	
学年	1学年	
担当教員		
職種	氏名	所属
教員	橋 陽子	指定なし

授業の概要と教育目標

妊娠期、授乳期、新生児期、幼児期、学童期、思春期の各ライフステージでは、生理的・精神的特徴を踏まえた、栄養状態の変化、栄養アセスメントの方法、栄養ケアの在り方、栄養アセスメントに関する理解が必要である。本授業では、特に妊娠期・授乳期・新生児期における母子の栄養管理について、基礎知識および助産師としての栄養ケアのスキルを習得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマポリシーとの関連として、EBM(Evidence Based Midwifery) 、NBM(Narrative Based Midwifery)の視点から、母子の健康レベルに応じた的確な支援・指導ができる技術を習得することを目指す。

到達目標

- 1.母子栄養のアセスメントを踏まえて、適切な栄養のあり方について理解できる。
- 2.妊娠時、授乳時の具体的な栄養管理方法、栄養相談技術を身につけることができる。
- 3.日本人の食事摂取基準(2025年版) および食事バランスガイドの概要を理解し、活用できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	橋陽子	母子栄養の基礎知識	食事バランスガイドにあてはめた食事評価を行い、自らの食生活の課題を把握する。	予習：テキスト第2章Aを熟読する。90分 復習：配布資料等を見直し要点を整理する。90分

第2回	橘陽子	妊娠を目指す女性に必要な食事の例 課題：アクティブラーニングで得た知識と技術を振り返り、まとめる。	朝食の調理および試食を行い、望ましい食事の在り方を理解する。	予習：テキスト第2章Aを熟読する。90分 復習：課題に取り組む。90分
第3回	橘陽子	妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、つわりのための栄養管理	授業資料への記入により、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、つわりへの栄養ケアについて理解を深める。	予習：テキスト第2章Bを熟読する。90分 復習：配布資料等を見直し要点を整理する。90分
第4回	橘陽子	妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、つわりの予防・改善を図る食事の例 課題：アクティブラーニングで得た知識と技術を振り返り、まとめる。	妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、つわりのための食事の調理および試食を行い、望ましい食事の在り方を理解する。	予習：テキスト第2章Bを熟読する。90分 復習：課題に取り組む。90分
第5回	橘陽子	妊産婦に必要な栄養素、配慮が必要な栄養素	授業資料への記入により、妊産婦に必要/配慮が必要な栄養素への理解を深める。	予習：テキスト第2章Bを熟読する。90分 復習：配布資料等を見直し要点を整理する。90分
第6回	橘陽子	葉酸、鉄の積極的摂取を図る食事の例 課題：アクティブラーニングで得た知識と技術を振り返り、まとめる。	葉酸及び鉄の豊富な食事の調理および試食を行い、望ましい食事の在り方を理解する。	予習：テキスト第2章Bを熟読する。90分 復習：課題に取り組む。90分
第7回	橘陽子	乳幼児期の発育・発達と食生活	授業資料への記入により、乳幼児期の発育・発達と食生活について理解を深める。	予習：テキスト第2章Dを熟読する。90分 復習：配布資料等を見直し要点を整理する。90分
第8回	橘陽子	調乳、離乳食の食事の例と市販品との比較 課題：アクティブラーニングで得た知識と技術を振り返り、まとめる。	調乳、離乳の開始時期の離乳食の調理および試食を行い、望ましい食事の在り方を理解する。また、市販品の試食により、比較検討する。	予習：テキスト第2章Dを熟読する。90分 復習：課題に取り組む。90分

教科書

助産学講3 基礎助産学 [3] 母子の健康科学 医学書院 我部山キヨ子編

参考書
授業で配布する資料
成績評価の方法・基準
単位認定 60点以上 課題80% 授業参加度20% により総合的に評価する。
課題等に対する フィードバックの方法
課題返却時にコメントを付与する。
履修のポイント
必ず、事前学習・事後学習を行うこと。 事前学習として、シラバスを参考に、テキストの章を読んでくること。 事後学習として、課題を行い、期日までに提出すること。 普段から自分の食生活、食品表示、調理などにも関心を持つこと。
オフィス・アワー
11号館研究室9 昼休み
科目区分
基礎領域

講義コード	80070001							
講義名	母性父性の心理・社会学							
(副題)								
開講責任部署	別科助産専攻							
代表ナンバリングコード	UBR6107							
講義開講時期	前期							
講義区分	講義							
基準単位数	1							
代表曜日								
代表時限								
必修/選択	必修							
実務経験のある教員の有無	無							
実務経験のある教員の経歴と授業内容								
学年	1学年							
担当教員								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>氏名</th> <th>所属</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教員</td> <td>篠原 貴子</td> <td>指定なし</td> </tr> </tbody> </table>			職種	氏名	所属	教員	篠原 貴子	指定なし
職種	氏名	所属						
教員	篠原 貴子	指定なし						

授業の概要と教育目標

子どもを産み・育てることは、女性にとって身体的・精神的・社会的変化を伴う経験であり、親としての自己を形成する過程である。本講義では、妊娠・出産・子育てに関して心理的・社会的側面から検討し、助産師として母子と家族を支援する基礎的知識を学ぶ。女性のライフサイクル、メンタルヘルス、母性・父性の発達、子どもの発達、性と生殖の健康、家族の病理、家族関係と法、社会政策、産育の歴史を取り上げる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、「助産師としての倫理観を深め、多様な価値観を受容し、対象の個別性を尊重できる能力」の形成を目指し、母性・父性の基礎的知識を学ぶことで妊産婦と家族への尊重や理解を深める。また、「女性のセクシュアリティに関する発達課題や健康問題に対応できる知識」の修得は、女性の健康支援やエンパワメントに関連する。

到達目標

1. 母性・父性・家族について、基本的な視点や考え方を理解できる。
2. 妊娠・出産・育児に関する現状や課題を認識し、問題解決に向けた支援のあり方や方法を考えることができる。
3. 女性のライフサイクルと性と生殖の健康を関連づけて説明できる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	母性・父性の研究：ジェンダーの視点から		予習90分：母子の心理・社会学4章AB,5章Aを読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第2回	女性のライフサイクル 若者と性		予習90分：母子の心理・社会学1章A,B3C2,3章E3を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
			予習90分：母子の心理・社会学2章ABを

第3回	母子関係・父子関係の形成		読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第4回	妊娠と出産をめぐる諸問題	資料を読み、グループで話し合う。	予習90分：母子の心理・社会学1章C,3章E3を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第5回	家族の病理		予習90分：母子の心理・社会学1章C2,2章A6C4,3章E3,5章Bを読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第6回	家族と社会：現代の家族		予習90分：母子の心理・社会学2章C,3章ABC,4章Cを読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第7回	子育て支援と家族政策		予習90分：母子の心理・社会学1章C4,2章D,3章D,4章A4B2,5章A3を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第8回	課題と展望		予習90分：これまでの資料を読む。 復習90分：配布資料を見直す。

教科書

我部山キヨ子・菅原ますみ編『基礎助産学[4]母子の心理・社会学』医学書院

参考書

無、授業時に随時紹介

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 レポート課題、リアクションペーパーで総合評価を行う。
(レポート課題80%、授業内課題20%)

課題等に対する フィードバックの方法

授業内での質問やリアクションペーパーによる授業内容の質問や疑問点に応じる。
また、グループでの討議を行うことで学習への意識を高め、各学生の理解を深める機会とする。

履修のポイント

授業内容に関して意欲的に学習し、理解を深める。

オフィス・アワー

授業日の、授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます。

科目区分

基礎領域

講義コード	80080001	
講義名	助産診断・技術学概論	
(副題)		
開講責任部署	別科助産専攻	
代表ナンバリングコード	UBR6108	
講義開講時期	前期	
講義区分	講義	
基準単位数	1	
代表曜日		
代表時限		
必修/選択	必修	
実務経験のある教員の有無	有	
実務経験のある教員の経歴と授業内容	助産師の臨床経験を活かして、ウェルネスの視点に基づいた助産過程の展開の方法を解説してゆく。	
学年	1学年	
担当教員		
職種	氏名	所属
教員	古賀 裕子	指定なし

授業の概要と教育目標

助産診断・技術学は助産学を構成する重要な柱の一つである。ここでは助産診断学、技術学に大別し、助産師の専門職性と合わせて概説する。助産診断学ではウェルネスという視点で対象の強みに着目し、正常経過かどうか診断する助産過程や、逸脱しそうな場合は助産師のケア、指導で逸脱せずに経過できるかどうかを見極める一連の思考過程、そして、技術学では助産師が法的に独自で判断して行う技術について理解を深めることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、妊娠、分娩、産褥の各時期における助産過程や一連の助産過程に基づく助産技術を理解し実践できる専門職としての基盤となる知識と技術の修得を目指す。

到達目標

1. 助産師の専門職性と診断との関係を説明できる。
2. 助産診断が、看護診断、医学診断との境界域や共同問題について討議し、助産診断が職能特有のものであることが理解できる。
3. 一連の助産過程（診断過程、実践過程）の展開ができる。
4. マタニティサイクルの助産診断ではウェルネス型診断を中心に実施できる。
5. 正常域との境界線を明確に診断するための根拠が述べられる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	古賀裕子	助産診断・技術学成立の経緯（1.助産診断学の成立 2.助産診断学から助産診断・技術学へ 3.助産診断・技術学の重要性）、助産過程の概要(1.助産過程の概念と定義 2.助産過程の構成要素)		予習90分： 助産学講座61章P1-7を読む 復習90分： 配布資料を

				見直す
第2回	古賀裕子	助産診断学の概要(1.診断の定義と意義 2.助産診断の範囲 3.助産診断類型 4.助産診断の分類)		予習90分： 助産学講座6 1章P8-20を 読む 復習90分： 配布資料を 見直す
第3回	古賀裕子	助産診断類型と診断指標 助産診断類型と診断指標の考え方と活用方法について		予習90分： 助産学講座6 1章P20-29を 読む 復習90分： 配布資料を 見直す
第4回	古賀裕子	助産診断過程について 一連の助産診断過程について実例を検証する。		予習90分： 事前配布資 料を読む 復習90分： 配布資料を 見直す
第5回	古賀裕子	助産診断過程について 一連の助産診断過程について実例を検証する		予習90分： 事前の配布 資料を読む 復習90分： 配布資料を 見直す
第6回	古賀裕子	助産実践過程について ケア計画立案と実践、評価について 実例を検証する	事例をも とにディ スカッシ ョン グルー プ ごと に発 表	予習90分： 事前の配布 資料を読む 復習90分： 配布資料を 見直す
第7回	古賀裕子	助産実践過程について ケア計画立案と実践、評価について 実例を検証する	事例をも とにディ スカッシ ョン グルー プ ごと に発 表	予習90分： 事前の配布 資料を読む 復習90分： 配布資料を 見直す
第8回	古賀裕子	助産技術学の概要 助産技術と実践過程の統合について		予習90分： 助産学講座6 1章P30-35を 読む 復習90分： 配布資料を 見直す

教科書

助産学講座6 助産診断・技術学II、(1)妊娠期 我部山キヨ子ら編 医学書院
マタニティ診断ガイドブック第6版

参考書

助産学講座7 助産診断・技術学II、(1)分娩期 我部山キヨ子ら編 医学書院

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 筆記試験（100%）

**課題等に対する
フィードバックの方法**

教科書や配布資料を熟読し予習復習をしっかりと行ってほしい。

履修のポイント

予習・復習の積み重ねが知識を身につける力になり、試験対策にもつながります。授業への積極的な取り組みを期待します。

オフィス・アワー

9～18時の在室時、koga-yu@kiryu-u.ac.jp

科目区分

実践領域

講義コード	80090001
講義名	助産診断・技術学I
(副題)	
開講責任部署	別科助産専攻
代表ナンバリングコード	UBR6109
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	臨床や教育現場において助産師として勤務した経験を活かし妊娠期・産褥期・新生児および乳児期の助産診断と必要な技術について解説する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	木村 優子	指定なし
教員	黒澤 やよい	指定なし
教員	櫻井 加奈	指定なし
教員	篠崎 博光	指定なし
教員	杉田 藍子	指定なし
教員	小濱 夕美	指定なし

授業の概要と教育目標

妊娠期、産褥期・新生児期・乳児期の助産診断とケアに必要な技術をEBM、NBMの視点から演習を通して修得する。ここでは事例について情報を統合して診断するまでの思考過程を概説し、まずはグループで助産過程を展開し、さらに個人でも助産過程が展開できるように教授する。正常からの逸脱が予測される場合はケアや指導で解決できるように計画し、逸脱した場合は医師との共同問題として看護計画を立案する。一連の助産過程を学び助産学実習において助産を実践するための思考能力と技術を身につけることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、ウェルネス診断に基づく助産過程を主体的に展開できることを目指す。さらに他の講義で学んだハイリスク状態の診断知識を活用し、対象者の健康レベルに応じた適切なケアプランを提供する技術の修得を目指す。

到達目標

1. 妊娠・産褥・新生児期・乳児期の一連の助産過程を展開できる。
2. 正常を逸脱する可能性がある場合、必要な保健指導を企画・展開できる。
3. 正常を逸脱した場合でも医師との共同問題としての助産過程を展開することができる。

授業計画

担当	授業内容と方法、課題	アクティブラーニング	予習・復習と そのために必要な時間

	者		ングの内容	
第1回	小濱夕美	<p>妊娠期の助産過程の特徴と手順</p> <p>妊娠各期の分類と特徴、妊娠期の助産過程の考え方、妊娠期の助産診断 情報収集方法とアセスメント</p>		<p>予習90分：助産学講座6 4章Aを読む</p> <p>復習90分：配布資料を見直す</p>
第2回	小濱夕美	<p>妊娠経過に即した生理的情報収集とアセスメント</p> <p>健康診査の目的、診査項目、求められる知識と根拠 今後の授業の進め方：事例紹介、分析フォーマット配布 各自USB持参すること。課題説明、課題提出期限の提示</p>		<p>予習90分：助産学講座6 4章を読む</p> <p>復習90分：課題作成</p>
第3回	小濱夕美	<p>妊娠期の情報整理とアセスメント・診断・助産計画の作成</p> <p>予め提出した課題を返却するので、ペア同士情報の整理内容を共有し、ディスカッションしながら不足部分を追加修正する。</p>	ペアワーク	<p>予習・復習各90分：助産学講座6 5章を読む。個人での課題取り組み、ペアでの課題取り組み</p>
第4回	小濱夕美	<p>妊娠期の情報整理とアセスメント・診断・助産計画の作成</p> <p>ペアワーク：情報・アセスメント・助産計画（診断・目標・ケアプラン）</p>	ペアワーク	<p>予習・復習各90分：助産学講座6 5章を読む。個人での課題取り組み、ペアでの課題取り組み</p>
第5回	小濱夕美	<p>妊娠各期の助産診断とケアプラン発表</p> <p>各グループの発表とディスカッション・コメント：PP作成、ディスカッション後修正したものをデータファイルで提出。授業終了時に配布するのでUSB持参すること。助産計画は、妊娠期指導技術のロールプレイ実施と評価を各自記入し紙媒体で提出する。</p>	ペアワーク発表とディスカッション	<p>予習90分：ペアワーク。PP作成と練習</p> <p>復習90分：記録修正</p>
第6回	小濱夕美	<p>妊娠各期の助産診断とケアプラン発表</p> <p>各グループの発表とディスカッション・コメント：PP作成、ディスカッション後修正したものをデータファイルで提出。授業終了時に配布するのでUSB持参すること。助産計画は、妊娠期指導技術のロールプレイ実施と評価を各自記入し紙媒体で提出する。</p>	ペアワーク発表とディスカッション	<p>予習90分：ペアワーク。PP作成と練習</p> <p>復習90分：記録修正</p>
第7回	櫻井加奈	<p>妊娠期のフィジカルエグザミネーション</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. レオポルド触診法・ザイツ法 2. 胎児心音の聴取（講義とデモンストレーション） 3. 腹囲・子宮底長の測定 4. 体重・血圧・下肢の浮腫測定 5. 検尿（尿蛋白／尿糖の判定、測定技術とアセスメント） 6. 骨盤の外計測法とアセスメント 7. NST(ノンストレステト) 8. 診察介助技術 	一部演習	<p>予習90分：助産学講座6 4章Bを読む。動きやすいズボンを持参する。</p> <p>復習90分：配布資料を見直す モデルを使って自主練習を行う</p>

		* 次回演習オリエンテーション		
第8回	櫻井加奈	<p>妊娠期のフィジカルエグザミネーション</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. レオポルド触診法・ザイツ法 2. 胎児心音の聴取（講義とデモンストレーション） 3. 腹囲・子宮底長の測定 4. 体重・血圧・下肢の浮腫測定 5. 検尿（尿蛋白／尿糖の判定、測定技術とアセスメント） 6. 骨盤の外計測法とアセスメント 7. NST(ノンストレステト) 8. 診察介助技術 <p>* 次回演習オリエンテーション</p>	一部演習	<p>予習90分：助産学講座6 4章Bを読む。動きやすいズボンを持参する。</p> <p>復習90分：配布資料を見直す モデルを使って自主練習を行う</p>
第9回	櫻井加奈	<p>妊娠期のフィジカルエグザミネーション</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. レオポルド触診法・ザイツ法 2. 胎児心音の聴取（講義とデモンストレーション） 3. 腹囲・子宮底長の測定 4. 体重・血圧・下肢の浮腫測定 5. 検尿（尿蛋白／尿糖の判定、測定技術とアセスメント） 6. 骨盤の外計測法とアセスメント 7. NST(ノンストレステト) 8. 診察介助技術 <p>* 次回演習オリエンテーション</p>	一部演習	<p>予習90分：助産学講座6 4章Bを読む。動きやすいズボンを持参する。</p> <p>復習90分：配布資料を見直す モデルを使って自主練習を行う</p>
第10回	櫻井加奈 木村優子	<p>妊娠期の援助技術（櫻井/木村/古賀）</p> <p>グループ演習：オリエンテーション後、教員の指導の下で、全員が妊婦健診時の諸測定(腹囲、子宮底、レオポルド法、NST)を実施する。前回授業資料を持参。実施後課題提出する。</p>	グループ演習	<p>予習90分：助産学講座6 4章Bを読む。動きやすいズボンを持参する。</p> <p>復習90分：配布資料を見直す モデルを使って自主練習を行う</p>
第11回	篠崎博光	<p>妊娠期の超音波診断技術</p> <p>妊娠期の超音波診断の知識と技術について(講義)</p>		<p>予習90分：助産学講座6 付章1 A・B P352～378を読む</p> <p>復習90分：配布資料を見直す</p>
第12回	篠崎博光	<p>妊娠期の超音波診断技術</p> <p>妊娠期の超音波診断の実際について(デモンストレーションと演習)</p>	演習	<p>予習90分：助産学講座6 付章1 A・B P352～378を読む</p> <p>復習90分：配布資料を見直す</p>
第13回	木村優子	<p>産褥期の助産診断</p> <p>産褥期の助産診断の特徴と診断類型</p>		<p>予習90分：助産学講座7 第10章P242-251を読む</p> <p>復習90分：配布資料を見直す</p>
第14回	木村優子	<p>産褥期の助産診断</p> <p>産褥期のフィジカルアセスメント</p>		<p>予習90分：助産学講座7 第11章P252-273を読む</p> <p>復習90分：配布資料を見直す</p>

第15回	木村優子	<p>新生児期の助産診断</p> <p>新生児期の助産診断（診断名と関連する情報）</p> <p>新生児の経過診断</p> <p>新生児の健康生活診断</p>		<p>予習90分：助産学講座8 1章P2-4、2章P10-32、プリンシプル産科婦人科学2 P176-186を読む</p> <p>復習90分：配布資料を見直す</p>
第16回	木村優子	<p>母子を統合した助産診断</p> <p>助産過程の展開 GW</p> <p>正常褥婦と正常新生児の紙上事例を用いて助産過程を展開する （正常産褥期 分娩後2時間～退院まで） （正常新生児期 出生直後～退院まで）</p>	グループワーク	<p>予習90分：助産学講座2、7、8、今までの配布資料等を見直しながら紙上事例の展開をしてグループワークに臨む</p> <p>復習90分：展開した情報やアセスメントの修正</p>
第17回	木村優子	<p>母子を統合した助産診断</p> <p>助産過程の展開 GW</p> <p>正常褥婦と正常新生児の紙上事例を用いて助産過程を展開する （正常産褥期 分娩後2時間～退院まで） （正常新生児期 出生直後～退院まで）</p>	グループワーク	<p>予習90分：助産学講座2、7、8、今までの配布資料等を見直しながら紙上事例の展開をしてグループワークに臨む</p> <p>復習90分：展開した情報やアセスメントの修正</p>
第18回	木村優子	<p>母子を統合した助産診断</p> <p>助産過程の展開 GW</p> <p>正常褥婦と正常新生児の紙上事例を用いて助産過程を展開する （正常産褥期 分娩後2時間～退院まで） （正常新生児期 出生直後～退院まで）</p>	グループワーク	<p>予習90分：助産学講座2、7、8、今までの配布資料等を見直しながら紙上事例の展開をしてグループワークに臨む</p> <p>復習90分：展開した情報やアセスメントの修正</p>
第19回	木村優子	<p>産褥期の技術</p> <p>退行性変化促進の支援</p>	一部演習	<p>予習90分：助産学講座7 第11章P276-279を読む</p> <p>復習90分：配布資料を見直す</p>
第20回	木村優子	<p>産褥期の技術</p> <p>産後の生活に関する支援</p>		<p>予習90分：助産学講座7 第11章P280-282、296-302を読む</p> <p>復習90分：配布資料を見直す</p>
第21回	木村優子	<p>産褥期の技術</p> <p>心理・社会的側面への支援</p>		<p>予習90分：助産学講座7 第11章P282-295を読む</p> <p>復習90分：配布資料を見直す</p>
第22回	木村優子	<p>産褥期の技術</p> <p>乳汁分泌の生理</p> <p>乳房管理</p>	一部演習	<p>予習90分：助産学講座2 第1章P58-62 助産学講座7 第14章P334-353を読む</p> <p>復習90分：配布資料を見直す</p>

第23回	木村優子	新生児の診断援助技術 出生直後からの新生児の観察技術・計測とケア (一部、新生児モデルを用いて観察と計測手技演習)	一部演習	予習90分：助産学講座8 第2章P64-101を読む 復習90分：配布資料を見直す
第24回	木村優子	新生児の診断援助技術 出生直後からの新生児の観察技術・計測とケア (一部、新生児モデルを用いて観察と計測手技演習)	一部演習	予習90分：助産学講座8 第2章P64-101を読む 復習90分：配布資料を見直す
第25回	木村優子 櫻井加奈	産褥期の援助技術 (木村/櫻井/古賀) 子宮復古状態の観察、ラッチオン、ポジショニング、乳房マッサージ、産褥体操 (4グループに分かれ教員の指導のもと全員演習する)	演習	予習90分：配布資料をよく読み、手順を再確認しておく 復習90分：配布資料を見直す、実施したケアの振り返りを行い記録する
第26回	木村優子 櫻井加奈	産褥期の援助技術 (木村/櫻井/古賀) 子宮復古状態の観察、ラッチオン、ポジショニング、乳房マッサージ、産褥体操 (4グループに分かれ教員の指導のもと全員演習する)	演習	予習90分：配布資料をよく読み、手順を再確認しておく 復習90分：配布資料を見直す、実施したケアの振り返りを行い記録する
第27回	木村優子 櫻井加奈	育児援助技術 (木村/櫻井/古賀) 新生児のバイタルサインの測定、身体計測、沐浴指導、児頭計測 (4グループに分かれ教員の指導のもと全員演習する)	演習	予習90分：配布資料をよく読み、手順を再確認しておく 復習90分：配布資料を見直す、実施したケアの振り返りを行い記録する
第28回	木村優子 櫻井加奈	育児援助技術 (木村/櫻井/古賀) 新生児のバイタルサインの測定、身体計測、沐浴指導、児頭計測 (4グループに分かれ教員の指導のもと全員演習する)	演習	予習90分：配布資料をよく読み、手順を再確認しておく 復習90分：配布資料を見直す、実施したケアの振り返りを行い記録する
第29回	杉田藍子	NICUにおける新生児のケア (1) 治療を受ける新生児のアセスメントとケア		予習90分：助産学講座8 第4章 P175～190、助産学講座3 6章Cを読む 復習90分：配布資料を見直す
第30回	杉田藍子	NICUにおける新生児のケア (2) 低出生体重児・早産児の特徴及びアセスメントとケア		予習90分：助産学講座8 第5章P192～P 225、助産学講座3 6章Cを読む 復習90分：配布資料を見直す

教科書
助産学講座2,6,7,8 母子の基礎科学、助産診断・技術学II（妊娠期、産褥期、新生児・乳幼児）我部山キヨ子ら編 医学書院、新生児学入門 仁志田博司 医学書院、プリンシプル産婦人科学 武谷雄二他 メジカルビュー、マタニティ診断ガイドブック第6版 医学書院
参考書
ウェルネスからみた母性看護過程 医学書院、今日の助産 北川真理子 南江堂、助産師基礎教育テキスト 産褥期のケア 新生児期・乳幼児期のケア 日本看護協会出版会、
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 筆記試験（100%）
課題等に対するフィードバックの方法
授業中での質問や問題提議を随時受け付け。教科書や配布資料は熟読し理解しておくように。
履修のポイント
助産学実習で必須となる思考過程であり、ケアに必要な判断力を養う科目である。実際の妊産褥婦の事例を用いてグループワークから次第に個人で助産過程を展開できるようにし、助産過程のポイントが分かるように講義を展開する。展開したものについて一定の水準まで到達できない場合は個人指導する場合がある。
オフィス・アワー
9～18時の在室時、kimura-yu@kiryu-u.ac.jp sakurai-ka@kiryu-u.ac.jp
科目区分
実践領域

講義コード	80100001	
講義名	助産診断・技術学II	
(副題)		
開講責任部署	別科助産専攻	
代表ナンバリングコード	UBR6110	
講義開講時期	前期	
講義区分	演習	
基準単位数	2	
代表曜日		
代表時限		
必修/選択	必修	
実務経験のある教員の有無	有	
実務経験のある教員の経歴と授業内容	臨床や教育現場において助産師として勤務した経験を活かし分娩期の助産診断と必要な技術について解説する。	
学年	1学年	
担当教員		
職種	氏名	所属
教員	古賀 裕子	指定なし

授業の概要と教育目標

分娩期の助産診断とケアに必要な技術をEBM、NBMの視点から演習を通して修得する。ここでは事例について情報を統合して診断するまでの思考過程を概説し、助産過程が展開できるように教授する。正常からの逸脱が予測される場合はケアや指導で解決できるように計画し、逸脱した場合は医師との共同問題として看護計画を立案する。一連の助産過程を学び助産学実習において助産を実践するための思考能力と技術を身につけることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、ウェルネス診断に基づく助産過程を主体的に展開できることを目指す。さらに他の講義で学んだハイリスク状態の診断知識を活用し、対象者の健康レベルに応じた適切なケアプランを提供する技術の修得を目指す。

到達目標

1. 分娩期の助産過程を展開できる。
2. 正常を逸脱する可能性がある場合、適切なアセスメントに基づき助産過程を展開できる。
3. 正常を逸脱した場合、医師との共同問題として助産過程を展開することができる。
4. 分娩介助技術を助産診断に基づいて実践することができる。
5. 異常、緊急時における技術を学び理解することができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	古賀裕子	分娩時の胎児心拍モニター判読について CTG基礎知識（CTGの意義、胎児心拍数の調節、自律神経機能等）CTGを判読する （CTGの見方、胎児が健康である証拠、一過性徐脈の発生原因、一過性徐脈を読む等）低酸素状態の評価と対応		予習90分：CTGテキストを読む 復習90分：CTGテキストを読む
				予習90分：助産

第2回	古賀裕子	分娩期の助産診断について 正常分娩の情報収集とアセスメント 分娩の予測/診断とケアの一連の過程について (初産婦の模擬事例)		診断類型と診断指標について復習する 復習90分：配布資料を見直す
第3回	古賀裕子	分娩期の助産診断について 正常分娩の情報収集とアセスメント 分娩の予測/診断とケアの一連の過程について (初産婦の模擬事例)		予習90分：助産診断類型と診断指標について復習する 復習90分：配布資料を見直す
第4回	古賀裕子	事例展開 (前期破水) 前期破水の実例展開/診断とケアについて	事例を読み診断指標をもとに助産診断についてディスカッションする	予習90分：助産学講座7 P75 プリンシプルP567-571前期破水を読む 復習90分：配布資料を見直す
第5回	古賀裕子	事例展開 (前期破水) 前期破水の実例展開/診断とケアについて	事例を読み診断指標をもとに助産診断についてディスカッションする	予習90分：助産学講座7 P75 プリンシプルP567-571前期破水を読む 復習90分：配布資料を見直す
第6回	古賀裕子	事例展開 (前期破水) 前期破水の実例展開/診断とケアについて	事例を読み診断指標をもとに助産診断や助産計画についてディスカッションする	予習90分：助産学講座7 P75 プリンシプルP567-571前期破水を読む 復習90分：配布資料を見直す
第7回	古賀裕子	事例展開 (微弱陣痛/促進) 微弱陣痛の実例展開/診断とケアについて	事例を読み診断指標をもとに助産診断についてディスカッションする	予習90分：助産学講座7 P59,148,166 プリンシプルP514-515微弱陣痛を読む 復習90分：配布資料を見直す
第8回	古賀裕子	事例展開 (微弱陣痛/促進) 微弱陣痛の実例展開/診断とケアについて	事例を読み診断指標をもとに助産診断についてディスカッションする	予習90分：助産学講座7 P59,148,166 プリンシプルP514-515微弱陣痛を読む 復習90分：配布資料を見直す
第9回	古賀裕子	事例展開 (微弱陣痛/促進) 微弱陣痛の実例展開/診断とケアについて	事例を読み診断指標をもとに助産診断や助産計画についてディスカッションする	予習90分：助産学講座7 P59,148,166 プリンシプルP514-515微弱陣痛を読む 復習90分：配布

				資料を見直す
第10回	古賀裕子	経過が早い初産婦、巨大児、予定日超過について 経過が早い初産婦の事例展開	助産診断や助産計画についてディスカッションする	予習90分：プリンシプルP375 P502を読む 復習90分：配布資料を見直す
第11回	古賀裕子	帝王切開術について(適応、母体と新生児への影響、合併症等)	ケア計画についてディスカッションする	予習90分:助産学講座7P195-204,209-211を読む 復習90分：配布資料を見直す
第12回	古賀裕子	無痛分娩、器械的急速遂娩術（吸引分娩、鉗子分娩）について		予習90分助産学講座7P189-194,205-208を読む 復習90分：配布資料を見直す
第13回	古賀裕子	回旋異常・弛緩出血・癒着胎盤・頸管裂傷等について		予習90分 助産学講座7/プリンシプルを読む 復習90分：配布資料を見直す
第14回	古賀裕子	母体合併症（妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病） 異常分娩（多胎、骨盤位）等の診断とケア		予習90分 助産学講座7/プリンシプルを読む 復習90分：配布資料を見直す
第15回	古賀裕子	分娩期の診察技術 産婦の観察について：外診、内診技法（講義/演習）		予習90分 助産学講座7 P54-57を読む 復習90分：配布資料を見直す。 * 白衣持参
第16回	古賀裕子	分娩介助の目標、分介助の準備等（講義）	演習 模型を使用し内診の技術を学ぶ	予習90分：助産学講座7 P88-107 事前資料配布、DVDを観る 復習90分：分娩介助練習
第17回	古賀裕子	分娩介助技術① 一連の分娩経過と技術（講義・DVD視聴） 間接介助について		予習90分 助産学講座7 P88-107 事前資料配布、DVDを観る 復習90分：分娩介助練習
第18回	古賀裕子	分娩介助技術② 分娩介助法（演習用DVD視聴） 分娩環境整備と物品について	分娩介助で使用する機械類の名称や使用方法について学ぶ	予習90分：助産学講座7 P88-107 事前資料配布 DVDを観る 復習90分：分娩介助練習
	古賀	分娩介助の実際① 分娩介助の実際 解説・デモンストレーション	演習 デモンストレーションを見学し	予習90分：助産学講座7 P88-107 事前資料配布

第19回	裕子	分娩介助演習（グループごと）動作確認しながら行う	グループに分かれ、分娩介助を実際に行う。	DVDを観る 復習90分：分娩介助練習
第20回	古賀裕子	分娩介助の実際① 分娩介助の実際 解説・デモンストレーション 分娩介助演習（グループごと）動作確認しながら行う	演習 グループに分かれ、分娩介助のひとつひとつの動作を確認しながら行う。	予習90分：助産学講座7 P88-107 事前資料配布 DVDを観る 復習90分：分娩介助練習
第21回	古賀裕子	分娩介助の実際① 分娩介助の実際 分娩介助演習（グループごと）動作確認しながら行う	演習 グループに分かれ、分娩介助のひとつひとつの動作を確認しながら行う。	予習90分：助産学講座7 P88-107 事前資料配布 DVDを観る 復習90分：分娩介助練習
第22回	古賀裕子	分娩介助の実際① 分娩介助の実際 解説・デモンストレーション 分娩介助演習（グループごと）動作確認しながら行う	演習 グループに分かれ、分娩介助のひとつひとつの動作を確認しながら行う。	予習90分：助産学講座7 P88-107 事前資料配布 DVDを観る 復習90分：分娩介助練習
第23回	古賀裕子	分娩介助の実際② 分娩介助演習（グループごと）一連の動作を確認しながらグループごとに繰り返す行う 分娩介助試験実施についての説明	演習 分娩介助の一連の動作を繰り返し練習し、スピード感をもってできるようにする。	予習90分：助産学講座7 P88-107 事前資料配布 DVDを観る 復習90分：分娩介助練習
第24回	古賀裕子	分娩介助の実際② 分娩介助演習（グループごと）一連の動作を確認しながらグループごとに繰り返す行う 分娩介助試験実施についての説明	演習 分娩介助の一連の動作を繰り返し練習し、スピード感をもってできるようにする。	予習90分：助産学講座7 P88-107 事前資料配布 DVDを観る 復習90分：分娩介助練習
第25回	古賀裕子	分娩介助の実際③ 分娩介助試験に関する解説,グループごとの復習	演習 試験でできなかったことやあいまいなところを練習しできるようにする。	予習90分:事前配布資料を読む 復習:90分:配布資料を見直す
第26回	古賀裕子	分娩と産痛緩和呼吸法とリラクゼーション、補助動作、マッサージ他（講義・演習）	演習 クッションやマットを使用し産痛緩和の実際を学ぶ。	予習90分：助産学講座7.P115-125を読む 復習90分：配布資料を見直す
第27回	古賀裕子	分娩期の診断と技術 分娩第4期 産婦のアセスメント/分娩第4期観察とセルフケア指導（講義）		予習90分：助産学講座7.P141-144を読む 復習90分：配布資料を見直す
第28回	古賀裕子	胎児付属物/出血量等のアセスメント 胎児付属物の検査と計測 出血量の測定（講義/DVD視聴と演習）	演習 胎盤模型を使用し計測や観察の視点を学ぶ。	予習90分:助産学講座7.P118-121を読む 復習90分：配布資料を見直す

第29回	古賀裕子	産道の損傷への対処とケア 分娩期の縫合技術（講義・DVD視聴・演習）	演習 縫合のDVDを視聴し、縫合キットを使用して縫合の仕方を学ぶ。	予習90分:助産学講座7.P198-199を読む 復習:90分:配布資料を見直す
第30回	古賀裕子	フリースタイル分娩 フリースタイル分娩（DVD視聴）、フリースタイル分娩介助演習	演習 側臥位や四つん這い分娩方法を実際に行う。	予習90分:事前配布資料を読む 復習:90分:配布資料を見直す

教科書

助産学講座7 助産診断・技術学II（分娩期、産褥期）我部山キヨ子ら編 医学書院,プリンシプル産婦人科学 武谷雄二他 メジカルビュー社, 図解CTGテキスト 中井章人 メディカルビュー社、分娩のしくみと介助法 竹田省 メディカルビュー社

参考書

写真でわかる助産技術アドバンス インターメディカ,今日の助産 北川真理子 南江堂, マタニティ診断ガイドブック 医学書院 産婦人科診療ガイドライン産科編2023 日本産婦人科学会/日本産婦人科医会

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 筆記試験（70%）、実技：分娩介助（30%）

課題等に対する

フィードバックの方法

助産過程を展開するうえでの必要な根拠を理解するため、教科者や参考書・配布資料等を熟読してほしい。分娩介助技術は練習回数を重ねて自分のものにしてほしい。

履修のポイント

助産学実習で必須となる思考過程であり、ケアに必要な判断力を養う科目である。実際の産婦の事例を用いて助産過程を展開できるようにし助産過程のポイントが分かるように講義を展開する。展開したものについて一定の水準まで到達できない場合は個人指導する場合がある。

オフィス・アワー

9～18時の在室時、koga-yu@kiryu-u.ac.jp

科目区分

実践領域

講義コード	80110001
講義名	助産診断・技術学III
(副題)	
開講責任部署	別科助産専攻
代表ナンバリングコード	UBR6111
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	助産師の臨床経験を活かし、周産期に起こりやすいハイリスク事例の提示を行い教示するとともに臨床で活用できるプランを立案してゆく
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	木村 優子	指定なし
教員	古賀 裕子	指定なし
教員	立木 歌織	指定なし

授業の概要と教育目標

妊娠期、分娩期、産褥期、新生児/乳児期のハイリスク事例の助産過程について教授する。ここでは事例について情報を統合して診断するまでの思考過程を概説し、まずはグループで助産過程を展開し、さらに個人でも助産過程が展開できるように教授する。正常からの逸脱が予測される場合はケアや指導で解決できるように計画し、逸脱した場合は医師との共同問題として看護計画を立案する。一連の助産過程を学び助産学実習において助産を実践するための思考能力と技術を身につけることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、ウェルネス診断に基づく助産過程を主体的に展開できることを目指す。さらに他の講義で学んだハイリスク状態の診断知識を活用し、対象者の健康レベルに応じた適切なケアプランを提供する技術の修得を目指す。

到達目標

1. ハイリスク妊娠、分娩、産褥、新生児、乳児における一連の助産過程を展開できる。
2. 正常を逸脱する可能性がある場合、必要な保健指導を企画・展開できる。
3. 正常を逸脱した場合でも医師との共同問題としての看護過程を展開できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	立木歌織	妊娠期のハイリスクケア① 妊娠高血圧症事例を通して対象のアセスメントと診断、ケアプラン及びロールプレイを解説・実施し、今後の演習方法を説明する。	説明後のアセスメント・診断・ケアプラン作成の演習、デモンストレーション	予習90分：助産学講座6を読む 復習90分：授業資料を整理する
				予習90分：必要

第2回	立木歌織	妊娠期のハイリスクケア② 妊娠悪阻・HELLP症候群・妊娠糖尿病・切迫早産・アナフラキシー事例等の展開を通して助産過程を展開する。グループディスカッションする。	グループワークで事例の病態生理、診断・治療を説明し、アセスメント、助産診断、助産計画立案	なテキスト・参考書持参 グループごとにパソコン1台持参 復習90分：グループ打ち合わせと作業
第3回	立木歌織	妊娠期のハイリスクケア③ 事例対象のアセスメントと診断、ケアプランの策定と実施をグループごとにパワーポイント、ロールプレイで発表しディスカッションする。	パワーポイントで事例、助産計画発表、ロールプレイ発表、全体討議	予習90分:発表準備 復習90分:発表後修正資料をUSB提出する
第4回	立木歌織	妊娠期のハイリスクケア④ 事例対象のアセスメントと診断、ケアプランの策定と実施をグループごとにパワーポイント、ロールプレイで発表しディスカッションする。	パワーポイントで事例、助産計画発表、ロールプレイ発表、全体討議	予習90分:発表準備 復習90分:発表後修正資料をUSB提出する
第5回	古賀裕子	分娩時の異常① 前期破水、微弱陣痛の事例をもとにアセスメントしケアプラン作成（講義、事例をもとにディスカッション）	講義・事例をもとにディスカッションを行う	予習90分:助産学講座7を読む 復習90分:配布資料を見直す
第6回	古賀裕子	分娩時の異常② 前期破水、微弱陣痛の事例をもとにアセスメントしケアプラン作成（講義、事例をもとにディスカッション）	講義・事例をもとにディスカッションを行う	予習90分：助産学講座7を読む 復習90分:配布資料を見直す
第7回	古賀裕子	分娩時の異常③ 妊娠高血圧症候群、常位胎盤早期剥離の事例をもとにケアプラン作成（講義、事例をもとにディスカッション）	講義・事例をもとにディスカッションを行う	予習90分：助産学講座7を読む 復習90分：配布資料を見直す
第8回	古賀裕子	分娩時の異常④ 妊娠高血圧症候群、常位胎盤早期剥離の事例をもとにケアプラン作成（講義、事例をもとにディスカッション）	講義・事例をもとにディスカッションを行う	予習90分:助産学講座7を読む 復習90分:配布資料を見直す
第9回	古賀裕子	分娩時の異常⑤ 弛緩出血の事例をもとにケアプラン作成（講義、事例をもとにディスカッション）	講義・事例をもとにディスカッションを行う	予習90分:助産学講座7を読む 復習90分:配布資料を見直す
第10回	木村優子	産褥期のハイリスク 産褥期に起こる身体的問題のアセスメントとケア① 方法の説明、事例提示、グループワーク、ディスカッション 事例：（帝王切開術後、子宮復古不全、血栓症、塞栓症） （乳房・乳汁分泌異常、排尿障害・恥骨離開） （マタニティブルーズ、産褥精神疾患、産後ケア、4か月健診）	グループワーク、ディスカッション	予習90分:助産学講座7を読む プレゼンテーションの準備 復習90分:配布資料を見直す

第11回	木村優子	産褥期のハイリスク 産褥期に起こる身体的問題のアセスメントとケア② 発表、ディスカッション 事例：(帝王切開術後、子宮復古不全、血栓症、塞栓症) (乳房・乳汁分泌異常、排尿障害・恥骨離開) (マタニティブルーズ、産褥精神疾患、産後ケア、4か月健診)	グループ発表、ディスカッション	予習90分:助産学講座7を読む 復習90分:配布資料を見直す
第12回	木村優子	産褥期のハイリスク 産褥期に起こる精神的問題のアセスメントとケア③ 発表、ディスカッション 事例：(帝王切開術後、子宮復古不全、血栓症、塞栓症) (乳房・乳汁分泌異常、排尿障害・恥骨離開) (マタニティブルーズ、産褥精神疾患、産後ケア、4か月健診)	グループ発表、ディスカッション	予習90分:助産学講座7を読む 復習90分:配布資料を見直す
第13回	木村優子	新生児期に起こる問題のアセスメントとケア① 新生児バイタルサインの低下、早発黄疸、口唇口蓋裂、低血糖、新生児仮死、早産	講義・事例をもとにグループワーク グループワークで事例の病態生理、診断・治療を説明し、アセスメント、助産診断、助産計画立案	予習90分:助産学講座8p10-p80 p143-190を読む 準備：必要なテキスト・参考書持参、グループでパソコン1台準備 復習90分:ディスカッション内容を反映しパワーポイント作成
第14回	木村優子	新生児期/乳幼児期に起こる問題のアセスメントとケア②発表	グループワークで事例の病態生理、診断・治療を説明し、アセスメント、助産診断、助産計画立案の発表とディスカッション	準備：必要なテキスト・参考書持参、グループでパソコン1台準備 復習90分:発表パワーポイントを修正し提出
第15回	木村優子	新生児期/乳幼児期に起こる問題のアセスメントとケア③発表	グループワークで事例の病態生理、診断・治療を説明し、アセスメント、助産診断、助産計画立案の発表とディスカッション	準備：必要なテキスト・参考書持参、グループでパソコン1台準備 復習90分:発表パワーポイントを修正し提出

教科書

助産学講座2,6,7,8 母子の基礎科学、助産診断・技術学II(妊娠期、分娩期、産褥期、新生児期・乳幼児期)我部山キヨ子ら編、新生児学入門 仁志田博司 医学書院、プリンシプル産婦人科学 武谷雄二他、図解CTGテキスト 中井章人 メジカルビュー社

参考書

ウェルネスからみた母性看護過程 医学書院、今日の助産 北川真理子 南江堂、助産師基礎教育テ

キスト 産褥期のケア、新生児期・乳幼児期のケア 日本看護協会出版会、マタニティ診断ガイドブック 医学書院

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 グループワーク参加態度(ディスカッション・発表)・レポート・発表内容

課題等に対する フィードバックの方法

助産学実習で必須となる思考過程であり、ケアに必要な判断力を養う科目である。実際の妊産褥婦及び新生児、乳児の事例を用いてグループワークから次第に個人で助産過程を展開できるようにし、助産過程のポイントが分かるように講義を展開する。展開したものについて一定の水準まで到達できない場合は個人指導する場合がある。

履修のポイント

助産過程を展開するうえで必要な根拠を理解するため、教科書や参考書・配布資料等を熟読し活用してほしい。

オフィス・アワー

9～18時の在室時、koga-yu@kiryu-u.ac.jp kimura-yu@kiryu-u.ac.jp

科目区分

実践領域

講義コード	80120001
講義名	助産診断・技術学IV
(副題)	
開講責任部署	別科助産専攻
代表ナンバリングコード	UBR6201
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	臨床や教育現場において助産師として勤務した経験を活かし妊娠期、分娩期、産褥期等の助産課程の展開について解説するとともに個々の到達度に合わせた支援を行う。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	古賀 裕子	指定なし
教員	木村 優子	指定なし
教員	黒澤 やよい	指定なし

授業の概要と教育目標

助産診断・技術学I～III・助産実習を通して、妊娠期、分娩期、産褥期、新生児・乳児の助産診断とケアに必要な知識や技術をEBM、NBMの視点から演習を通して習得し、臨床実習で診断力と技術力を活用し様々な視点から助産過程の展開を経験してきた。統合的に周産期の母子を理解し、支えるための状況に沿った診断力及びエビデンスに基づいた知識と技術を改めて問い、個々の到達できていない課題を見出し確実な知識力を高めることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、個別性を尊重し、女性のセクシュアリティに関する発達課題や健康問題に対応できる知識と母子の健康レベルに応じた的確な支援・指導ができる専門職業人としての基本的能力の修得を目指す。

到達目標

1. 女性や家族を取りまく社会の情勢や助産師の職務と責任を説明できる。
2. 周産期母子の生理や逸脱、その対処について科学的根拠を用いて説明できる。
3. 根拠に基づいた診断と効果的な技術の選択ができる。
4. 助産師としての職業的特性を述べ社会に貢献するための自己研鑽能力を高める。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
	黒澤	基礎助産学 ライフサイクルと女性の体(性の分化、ホルモ	発問と	予習90分：これまでの学修を通して明らかになった疑問点、曖昧な知識を

第1回	やよい	ン、月経をめぐる問題、性機能、婦人科疾患、性感染症、不妊と治療、家族計画、出生前診断等に関する知識を問い解説する。	ディスカッション	明確にして臨む 復習90分：疑問点に対する説明ができるようにテキストや資料を確認する
第2回	黒澤やよい	妊娠期 着床と胎児発達、妊娠期の体の変化、栄養、妊娠合併症の助産診断とケア方法を問い解説する。	発問とディスカッション	予習90分:これまでの学修を通して明らかになった疑問点、曖昧な知識を明確にして臨む。 復習90分：疑問点に対する説明ができるようにテキストや資料を確認する
第3回	黒澤やよい	母子保健政策と法律、母子保健統計、助産管理と法律、医療安全と危機管理に関する知識を問い解説する。	発問とディスカッション	予習各90分 これまでの学修を通して明らかになった疑問点、曖昧な知識を明確にして臨む。 復習各90分 疑問点に対する説明ができるように資料を確認する
第4回	古賀裕子	助産業務ガイドライン2024について（講義） 分娩の3要素（産道 娩出力 娩出物） 分娩が母体及び胎児に及ぼす影響（講義）	発問・ディスカッション	予習90分 助産業務ガイドライン2024、助産学講座7 プリンシプルを読む 復習90分 資料を見直す
第5回	古賀裕子	正常な分娩経過の助産診断の特徴と診断類型、 分娩期のフィジカルアセスメント（講義）	発問・ディスカッション	予習90分 助産学講座7 病気がみえる プリンシプルを読む 復習90分 資料を見直す
第6回	古賀裕子	分娩期 ハイリスク・異常分娩時のアセスメントと支援 産科手術及び産科的医療処置（講義）	発問・ディスカッション	予習90分 助産学講座7 病気がみえる プリンシプルを読む 復習90分 資料を見直す
第7回	木村優子	産褥期・新生児期 正常経過にある褥婦と家族の助産診断と支援 正常からの逸脱およびハイリスク状態にある褥婦の診断と支援 正常経過にある新生児・乳児の助産診断と支援 正常からの逸脱およびハイリスク状態にある新生児・乳児の診断と支援（臨床で起きやすい疾患、画像診断などを参考に授業を進める）	各自、課題に対し解説する	予習90分 助産学講座7 助産学講座8 病気が見える プリンシプル2を読む 復習90分 資料を見直す
第8回	木村優子	産褥期・新生児期 正常経過にある褥婦と家族の助産診断と支援 正常からの逸脱およびハイリスク状態にある褥婦の診断と支援 正常経過にある新生児・乳児の助産診断と支援 正常からの逸脱およびハイリスク状態にある新生児・乳児の診断と支援（臨床で起きやすい疾患、画像診断などを参考に授業を進める）	各自、課題に対し解説する	予習90分 助産学講座7 助産学講座8 病気が見える プリンシプル2を読む 復習90分 資料を見直す

教科書

助産学講座1～4基礎看護学，9地域母子保健，10助産管理、助産学講座5～8 助産診断・技術学I・II 我部山キヨ子ら編 医学書院,プリンシプル産婦人科学 武谷雄二他 メジカルビュー社,病気が見える5 婦人科乳腺外科,10産科 メディックメディア、助産業務ガイドライン2024 日本助産師会

参考書

今日の助産 北川真理子 南江堂, 助産師基礎教育テキスト 分娩期の診断とケア 日本看護協会出版
会,
我が国の母子保健 母性衛生研究会、

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 筆記試験（100%）、

課題等に対する フィードバックの方法

妊娠・分娩・産褥・新生児の解剖生理はもちろん状況に対するアセスメントとそのケアが説明
できるよう、教科者や参考書・配布資料等を熟読してほしい。

履修のポイント

今までの学修の集大成である。しっかりと予習、復習をして臨み、分からないことは積極的に
質問してほしい。

オフィス・アワー

9～18時の在室時、 koga-yu@kiryu-u.ac.jp kimura-yu@kiryu-u.ac.jp kurosawa-ya@kiryu-u.ac.jp

科目区分

実践領域

講義コード	80130001							
講義名	保健指導技術概論							
(副題)								
開講責任部署	別科助産専攻							
代表ナンバリングコード	UBR6112							
講義開講時期	前期							
講義区分	講義							
基準単位数	1							
代表曜日								
代表時限								
必修/選択	必修							
実務経験のある教員の有無	有							
実務経験のある教員の経歴と授業内容	助産師の臨床経験を活かし、個人指導・集団指導の基礎知識を解説すると共に企画・運営できるようサポートする。							
学年	1学年							
担当教員								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>氏名</th> <th>所属</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教員</td> <td>木村 優子</td> <td>指定なし</td> </tr> </tbody> </table>			職種	氏名	所属	教員	木村 優子	指定なし
職種	氏名	所属						
教員	木村 優子	指定なし						

授業の概要と教育目標

助産活動に関連した保健指導、相談指導、学級活動の基本となるコミュニケーション、相談技法、教育技法等の概念、意義について学び、集団指導、個人指導の企画をするために必要な基礎的能力を養う。また保健指導における助産師に期待される姿勢を考える。保健指導の時期別各論で保健指導の展開につなげる。なお本科目は、助産師活動における個人指導、集団指導の概念を理解し、適切な方法での企画、コミュニケーション技法を習得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、助産師として多様な価値観を受容し、対象の個性を尊重できる能力を修得する。また、EBM, NBMの視点をもって母子の健康レベルに応じた保健指導が出来る基礎技術の修得を目指すものとする。

到達目標

1. 保健指導の理論、目的、方法について理解する。
2. 個人指導において個性を考慮したインタビュー方法を学び、情報収集ができる。
3. 個人指導の特徴を理解し、各論における妊娠中期～産褥1ヶ月までの指導計画に移行できる。
4. 集団指導の特徴を理解し、集団指導を企画・展開できる。
5. 対象の個性に合わせた保健指導案を作成し、一連の指導過程を展開できる。
6. 指導場面において、対象を尊重する対応方法について理解できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブ ラーニング の内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	木村 優子	相談・教育活動の基本 相談・教育の基礎		予習90分：助産学講座5 第1章P24-76を読む 復習90分：配布資料を見直す
	木	相談・教育活動の基本		

第2回	村優子	相談・教育活動		予習90分：助産学講座5 第2章P78-126を読む 復習90分：配布資料を見直す
第3回	木村優子	相談・教育活動の基本 相談・教育の方法		予習90分：助産学講座5 第3章P128-177を読む 復習90分：配布資料を見直す
第4回	木村優子	<p>集団指導の展開（クラスで話し合い） 内容の検討 妊娠6～7か月の妊婦を対象にした集団指導を企画・運営 （誘導・受付・アイスブレイク・実際・評価までの流れと担当） 母体の管理を中心に3グループに分かれて実際に指導案作成</p> <p>1. 栄養の大切さ・体重管理 2. 姿勢・腰痛・体操 3. 貧血：原因・合併症・産むための身体作り 保健指導技術 第14回と第15回で発表 1グループの持ち時間 20分前後 発表後、まとめと振り返り *設定は地域の集団指導とする</p>	演習	予習90分：妊娠期の講義資料や教科書、参考書を参考に指導内容を調べて話し合いに臨む 復習90分：話し合いを元に各自の資料を修正・追加し、次回のワークで作成する指導案に活かす
第5回	木村優子	<p>集団指導の展開（クラスで話し合い） 指導案作成 妊娠6～7か月の妊婦を対象にした集団指導を企画・運営 （誘導・受付・アイスブレイク・実際・評価までの流れと担当） 母体の管理を中心に3グループに分かれて実際に指導案作成</p> <p>1. 栄養の大切さ・体重管理 2. 姿勢・腰痛・体操 3. 貧血：原因・合併症・産むための身体作り 保健指導技術 第14回と第15回で発表 1グループの持ち時間 20分前後 発表後、まとめと振り返り *設定は地域の集団指導</p>	演習	予習90分：妊娠期の講義資料や教科書、参考書を参考に指導内容を調べて話し合いに臨む 復習90分：話し合いを元に各自の資料を修正・追加し、次回のグループで作成する指導案に活かす

		とする		
第6回	木村優子	<p>集団指導の展開（グループワーク） 指導案作成 妊娠6～7か月の妊婦を対象にした集団指導を企画・運営 （誘導・受付・アイスブレイク・実際・評価までの流れと担当） 母体の管理を中心に3グループに分かれて実際に指導案作成 1. 栄養の大切さ・体重管理 2. 姿勢・腰痛・体操 3. 貧血：原因・合併症・産むための身体作り 保健指導技術 第14回と第15回で発表 1グループの持ち時間 20分前後 発表後、まとめと振り返り * 設定は地域の集団指導とする</p>	演習 グループワーク	<p>予習90分：妊娠期の講義資料や教科書、参考書を参考に指導内容を調べて話し合いに臨む 復習90分：グループの話し合いを元に各自の資料を修正・追加し、次回のグループで作成する指導案に活かす</p>
第7回	木村優子	<p>集団指導の展開（グループワーク） 指導媒体作成 妊娠6～7か月の妊婦を対象にした集団指導を企画・運営 （誘導・受付・アイスブレイク・実際・評価までの流れと担当） 母体の管理を中心に3グループに分かれて実際に指導案作成 1. 栄養の大切さ・体重管理 2. 姿勢・腰痛・体操 3. 貧血：原因・合併症・産むための身体作り 保健指導技術 第14回と第15回で発表 1グループの持ち時間 20分前後 発表後、まとめと振り返り * 設定は地域の集団指導とする</p>	演習 グループワーク	<p>予習90分：妊娠期の講義資料や教科書、参考書を参考に指導内容を調べて話し合いに臨む 復習90分：グループの話し合いを元に各自の資料を修正・追加し、次回のグループで作成する指導案に活かす</p>
		<p>集団指導の展開（グループワーク） 指導媒体作成 妊娠6～7か月の妊婦を対象にした集団指導を企画・運営</p>		

第8回	木村優子	<p>(誘導・受付・アイスブレイク・実際・評価までの流れと担当)</p> <p>母体の管理を中心に3グループに分かれて実際に指導案作成</p> <p>1. 栄養の大切さ・体重管理</p> <p>2. 姿勢・腰痛・体操</p> <p>3. 貧血：原因・合併症・産むための身体作り</p> <p>保健指導技術 第14回と第15回で発表</p> <p>1グループの持ち時間 20分前後</p> <p>発表後、まとめと振り返り</p> <p>*設定は地域の集団指導とする</p>	演習 グループワーク	<p>予習90分：妊娠期の講義資料や教科書、参考書を参考に指導内容を調べて話し合いに臨む</p> <p>復習90分：グループの話し合いを元に各自の資料を修正・追加し、次回のグループで作成する指導案に活かす</p>
-----	------	---	---------------	--

教科書

助産学講座5 助産診断・技術学I 堀内成子編 医学書院

助産学講座6 助産診断・技術学II (1) 妊娠期 我部山キヨ子ら編 医学書院

参考書

参加型マタニティクラスBOOK 戸田律子著 医学書院

マタニティサイクルの実践保健指導 妊娠期 鈴木由美著 丸善プラネット

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 筆記試験 (100%)

課題等に対する フィードバックの方法

グループ活動による演習およびその成果発表を通して、学びの言語化を行う。

履修のポイント

助産学実習や地域実習を通して実際に理解していくことにつなげる。卒業後の助産師活動の場で生かせる知識として身に付けていく必要がある。

オフィス・アワー

9～18時の在室時、kimura-yu@kiryu-u.ac.jp

科目区分

実践領域

講義コード	80140001
講義名	保健指導技術
(副題)	
開講責任部署	別科助産専攻
代表ナンバリングコード	UBR6113
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	助産師の臨床経験を活かし、女性のライフサイクル各期に応じた保健指導を解説し、助産学実習で必要となる保健指導を企画・展開できるようサポートする。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	木村 優子	指定なし
教員	黒澤 やよい	指定なし
教員	古賀 裕子	指定なし
教員	小濱 夕美	指定なし

授業の概要と教育目標

妊娠～出産、育児および女性の性と生殖はウェルネス診断が基本である。まずは正常に経過できているかどうかを診断し、異常に傾きそうな問題や課題があれば保健指導によって回避し、問題がない場合はよりよい状態または良い状態を維持するための保健指導を行う必要がある。個別指導においては助産診断に基づく保健指導の立案と実施方法を学び、集団指導では企画、運営、展開の演習を行う。この科目は受胎調節実地指導員講習の必修科目「討議」「考査」に該当している。なお本科目は、対象に応じた保健指導技術の方法を選択し、効果的に展開できることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、助産師として多様な価値観を受容し、対象の個別性を尊重できる能力を修得する。また、EBM, NBMの視点をもって母子と家族の健康レベルに応じた的確な保健指導が出来る技術の修得を目指すものとする。

到達目標

1. 保健指導の企画、展開の方法を学び、対象者に応じた指導が実施できる。
2. 思春期、更年期等の女性の健康講座などを企画する方法について理解できる。
3. 妊娠期、産褥期の保健指導案を立案できる。
4. 妊娠期、産褥期の保健指導案に基づいて展開できる。

授業計画

担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
	初診時における問診		

第1回	小濱夕美	初診時における問診・初回インタビュー演習 妊娠初期指導の実際（妊娠届・母子健康手帳の活用・妊娠中の健診について）デモンストレーション	一部演習	予習90分：助産学講座5第2章A、第3章Aを読む 復習90分：配布資料を見直す
第2回	小濱夕美	妊娠期における個別指導① 妊娠期個別指導技術演習の進め方（課題提示） ①妊娠と貧血 ②分娩が近づいた兆候 ③入院の時期と方法	ペアワーク	予習90分：助産学講座5 第4章第5章を読む 復習90分：ペアワーク計画作成
第3回	小濱夕美	妊娠期における個別指導② 妊娠各期の保健指導案の作成（グループワーク演習） ①妊娠初期（初期のマイナートラブルと対処、着帯） ②妊娠中期（中期のマイナートラブル・体重管理、貧血予防、早産予防、日常生活の動静、出産育児準備、母乳について、バースプラン） ③妊娠後期（腹部増大に則した日常生活の工夫、バースプランの確認、分娩前兆、入院の時期と方法、異常の観察と対処、産痛緩和法・分娩経過中の過ごし方）	演習グループワーク	予習90分：助産診断学妊婦事例の指導計画作成 復習90分：指導場面のロールプレイ・媒体作成（GW）
第4回	小濱夕美	妊娠期における個別指導② 妊娠各期の保健指導案の作成（グループワーク演習） ①妊娠初期（初期のマイナートラブルと対処、着帯） ②妊娠中期（中期のマイナートラブル・体重管理、貧血予防、早産予防、日常生活の動静、出産育児準備、母乳について、バースプラン） ③妊娠後期（腹部増大に則した日常生活の工夫、バースプランの確認、分娩前兆、入院の時期と方法、異常の観察と対処、産痛緩和法・分娩経過中の過ごし方）	演習グループワーク	予習90分：助産診断学妊婦事例の指導計画作成 復習90分：指導場面のロールプレイ・媒体作成（GW）
第5回	小濱夕美	妊娠期における個別指導② 妊娠各期の保健指導案の作成（グループワーク演習） ①妊娠初期（初期のマイナートラブルと対処、着帯） ②妊娠中期（中期のマイナートラブル・体重管理、貧血予防、早産予防、日常生活の動静、出産育児準備、母乳について、バースプラン）	演習グループワーク	予習90分：助産診断学妊婦事例の指導計画作成 復習90分：指導場面のロールプレイ・媒体作成（GW）

		③妊娠後期（腹部増大に則した日常生活の工夫、バースプランの確認、分娩前兆、入院の時期と方法、異常の観察と対処、産痛緩和法・分娩経過中の過ごし方）		
第6回	小濱夕美	妊娠各期における個別指導③ 妊娠各期の保健指導の実施（ロールプレイ発表/ディスカッション）	ロールプレイ発表	予習90分：演習準備 復習90分：提出資料作成
第7回	小濱夕美	妊娠各期における個別指導③ 妊娠各期の保健指導の実施（ロールプレイ発表/ディスカッション）	ロールプレイ発表	予習90分：演習準備 復習90分：提出資料作成
第8回	小濱夕美	妊娠各期における個別指導③ 妊娠各期の保健指導の実施（ロールプレイ発表/ディスカッション）	ロールプレイ発表	予習90分：演習準備 復習90分：提出資料作成
第9回	小濱夕美	妊娠各期における個別指導④ 個人課題の保健指導実践発表 ①妊娠と貧血 ②分娩が近づいた兆候 ③入院の時期と方法	発表	予習90分：演習準備 復習90分：提出資料作成
第10回	古賀裕子	妊娠期の運動と分娩準備教育 満足のいくお産のためのエクササイズ/ソフロロジー分娩法	講義と演習、運動しやすい服装で参加すること	予習90分：助産学講座3 4章AB、助産学講座6 5章P234～P243を読む 復習90分：配布資料を見直す
第11回	古賀裕子	妊娠期によくみられるマイナートラブルと対処方法	講義	予習90分：助産学講座6 5章を読む 復習90分：配布資料を読み直す。
第12回	木村優子 古賀裕子	妊娠期における集団指導の展開①（木村/古賀） 妊娠6～7ヶ月を対象とした集団指導デモンストレーション	デモンストレーション	予習90分：保健指導概論のグループワークにおいて作成した集団指導案を発表出来るよう準備・練習する。 復習90分：デモストや教員からの指導内容を活かし、指導案の修正追加を行う。
第13回	木村優子 古賀裕子	妊娠期における集団指導の展開①（木村/古賀） 妊娠6～7ヶ月を対象とした集団指導デモンストレーション	デモンストレーション	予習90分：保健指導概論のグループワークにおいて作成した集団指導案を発表出来るよう準備・練習する。 復習90分：デモストや教員からの指導内容を活かし、指導案の修正追加を行う。
第14回	木村優子 古賀	妊娠期における集団指導の展開②（木村/古賀） 模擬集団指導の実施	演習発表	予習90分：保健指導概論のグループワークにおいて作成した集団指導案を発表出来るよう準備・練習する。 復習90分：発表し、クラスメイトや教員からの指導内容を活かし、助産学実

	裕子	振り返り評価とまとめ		習で活用できるよう各自で指導案の修正追加を行う。
第15回	木村優子 古賀裕子	妊娠期における集団指導の展開② (木村/古賀) 模擬集団指導の実施 振り返り評価とまとめ	演習 発表・意見交換	予習90分：保健指導概論のグループワークにおいて作成した集団指導案を発表出来るよう準備・練習する。 復習90分：発表し、クラスメイトや教員からの指導内容を活かし、助産学実習で活用できるよう各自で指導案の修正追加を行う。
第16回	木村優子	産褥期における保健指導 育児行動獲得への援助 (おむつ交換・抱き方・授乳・調乳指導)	一部演習	予習90分：助産学講座7 第11章P296-297、299-300を読む 指導案に活かせる資料を集める 復習90分：配布資料を見直す
第17回	木村優子	産褥期における保健指導 育児行動獲得への援助 (衣服の着脱・沐浴指導)	一部演習	予習90分：助産学講座7 第11章P297-299を読む 指導案に活かせる資料を集める 復習90分：配布資料を見直す
第18回	木村優子	産褥期における保健指導 退院指導の内容と方法		予習90分：助産学講座7 第11章P286-295、P300-302を読む 指導案に活かせる資料を集める 復習90分：配布資料を見直す
第19回	木村優子	産褥期における保健指導の留意点 退院後の母乳管理・母乳育児相談		予習90分：助産学講座7 第14章P346-348を読む 指導案に活かせる資料を集める 復習90分：配布資料を見直す
第20回	木村優子	産褥期における保健指導 1か月健診時の指導内容と方法		予習90分：助産学講座8 第2章P102-118を読む 指導案に活かせる資料を集める 復習90分：配布資料を見直す
第21回	木村優子	保健指導案の展開 保健指導案・指導媒体の作成 助産診断学で展開した紙上事例をもとに産褥期に実施される保健指導案を作成する (グループワーク)	演習 グループワーク	予習90分：集めた資料をもとに話し合いが出来るよう、各自内容を把握する。保健指導技術概論や助産診断技術学で学んだ内容を復習しておく 復習90分：グループの意見や教員の指導をもとに、各自の資料を追加修正する。次回のグループワーク時に意見が伝えられるよう資料の準備をする。各自で指導案の作成を進める。
第22回	木村優子	保健指導案の展開 保健指導案・指導媒体の作成 助産診断学で展開した紙上事例をもとに産褥期に実施される保健指導案を作成する (グループワーク)	演習 グループワーク	予習90分：集めた資料をもとに話し合いが出来るよう、各自内容を把握する。保健指導技術概論や助産診断技術学で学んだ内容を復習しておく 復習90分：グループの意見や教員の指導をもとに、各自の資料を追加修正する。次回のグループワーク時に意見が伝えられるよう資料の準備をする。各自で指導案の作成を進める。
第23回	木村優	保健指導案の展開 保健指導案・指導媒体の作成 助産診断学で展開した紙上事例を	演習 グループ	予習90分：集めた資料をもとに話し合いが出来るよう、各自内容を把握する。保健指導技術概論や助産診断技術学で学んだ内容を復習しておく 復習90分：グループの意見や教員の指

	子	もとに産褥期に実施される保健指導案を作成する (グループワーク)	ワーク	導をもとに、各自の資料を追加修正する。次回のグループワーク時に意見が伝えられるよう資料の準備をする。各自で指導案の作成を進める。
第24回	木村優子	産褥期における保健指導の実際 まとめ発表 ロールプレイ (産褥期の保健指導のまとめ発表)	演習 発表	予習90分: ロールプレイがスムーズにできるために各自読み込みや物品の準備。グループメンバーとの調整 復習90分: 発表後のレポートのまとめ。各自で助産学実習用に指導案を作成する。
第25回	木村優子	産褥期における保健指導の実際 まとめ発表 ロールプレイ (産褥期の保健指導のまとめ発表)	演習 発表	予習90分: ロールプレイがスムーズにできるために各自読み込みや物品の準備。グループメンバーとの調整 復習90分: 発表後のレポートのまとめ。各自で助産学実習用に指導案を作成する。
第26回	木村優子	産褥期における保健指導の実際 まとめ発表 ロールプレイ (産褥期の保健指導のまとめ発表)	演習 発表	予習90分: ロールプレイがスムーズにできるために各自読み込みや物品の準備。グループメンバーとの調整 復習90分: 発表後のレポートのまとめ。各自で助産学実習用に指導案を作成する。
第27回	古賀裕子	ライフサイクルにおける保健指導 ～思春期～ 思春期における保健指導について (講義)、DVD視聴 演習	演習	予習90分:助産学講座5 4章を読む。 復習90分:配布資料を見直す
第28回	古賀裕子	ライフサイクルにおける保健指導 ～思春期～ 思春期における保健指導について (講義)、DVD視聴 演習	演習	予習90分:助産学講座5 4章を読む。 復習90分:配布資料を見直す
第29回	古賀裕子	ライフサイクルにおける保健指導 ～更年期～ 更年期女性における保健指導について(講義) 更年期のケア (演習)	演習	予習90分:助産学講座5P248-274を読む。 復習90分:配布資料を見直す
第30回	古賀裕子	ライフサイクルにおける保健指導 ～更年期～ 更年期女性における保健指導について(講義) 更年期のケア (演習)	演習	予習90分:助産学講座5P248-274を読む。 復習90分:配布資料を見直す

教科書

助産学講座3 母子の健康科学 医学書院、助産学講座5 助産診断・技術学I、助産学講座6,7,8 助産診断・技術学II (妊娠期、分娩期、産褥期) 我部山キヨ子ら編 医学書院、母子健康手帳

参考書

参加型マタニティクラスBOOK 戸田律子 医学書院

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 グループワーク参加状況・積極性・協調性・基礎知識の習得状況（発表内容）、発表後レポートなどによる総合評価による。妊娠期：40% 産褥期：40% 思春期・更年期：20%

課題等に対する フィードバックの方法

グループ活動による演習およびその成果発表を通して、学びの言語化を行う。

履修のポイント

助産学実習や地域実習を通して実際に理解していくことにつなげる。卒業後の助産師活動の場で生かせる知識として身に付けていく必要がある。

オフィス・アワー

9～18時の在室時 kimura-yu@kiryu-u.ac.jp koga-yu@kiryu-u.ac.jp

科目区分

実践領域

講義コード	80150001
講義名	地域母子保健I
(副題)	
開講責任部署	別科助産専攻
代表ナンバリングコード	UBR6114
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	助産師資格を持つ保健師の立場から、地域母子保健活動の実践に役立つ知識と技術を教示する
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	笠原 佳代	指定なし

授業の概要と教育目標

地域における助産師の母子保健活動を展開するために、国、都道府県、市町村における母子保健動向を理解し、地域母子保健活動（目的、事業計画の立案、実施方法等）、地域組織活動育成支援等についてロールプレイやグループワーク（KJ法）を通して、地域での活動における基礎的技術を学ぶ。なお本科目は、助産師として地域の母子保健を推進するための基礎的知識を学ぶことを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、地域社会の発展に寄与し、チーム医療に参画できる能力の修得を目指す。

到達目標

1. 地域で助産師が展開する母子保健活動の意義を説明できる。
2. 母子保健施策、法律、制度等を理解し、地域の特性やニーズを把握するための視点を述べるができる。
3. 母子を取り巻く環境やニーズの把握、個別支援、関係機関との連携と支援方法を理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	地域母子保健活動の目的 1) 地域母子保健について 2) 地域の母子を取り巻く環境と現状 ヘルスプロモーション		予習90分：助産学講座9 1章・2章、我が国の母子保 健I・IIを読む。 復習90分：配布資料を見直す
第2回	地域における母子保健活動のしくみ 1) 母子保健施策、制度、法律 2) 母子保健活動における個別支援方法	ロールプレイ	予習90分：助産学講座9 3章ABC、我が国の母子保 健IIIを読む。 復習90分：配布資料を見直す

第3回	地域における母子保健活動の展開I 1) 地域の特性と関連業務 2) 地域のアセスメントとニーズの把握		予習90分：助産学講座9 4章5章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第4回	地域における母子保健活動の展開II 1) 地域母子保健と関係機関との連携方法 2) 母子の教室運営方法（療育支援含）	グループワーク	予習90分：助産学講座9 4章5章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第5回	地域における母子保健活動の実際 1) 保健所における母子関連業務 2) 市町村における母子（障がい児を含む）関連業務と実際 3) あなたの町の母子保健活動（レポート課題）	グループワーク	グループワーク課題との取り組み
第6回	助産師における地域母子保健活動の実際 地域構成よりみた産褥期母子ケアにかかわる潜在助産師調査と活動計画の策定・実際	ロールプレイ・グループワーク	グループワーク課題との取り組み
第7回	地域における助産師活動グループ支援 1) 地域組織活動の育成支援 2) 子育て支援システムの構築（障がい児支援含）	グループワーク	グループワーク課題との取り組み
第8回	これからの地域における助産師活動 1) 助産師活動～保健・産科医療・福祉の連携方法～ 子ども家庭総合支援拠点・子育て世代包括支援センター 2) 助産師訪問、相談、教室運営のロールプレイ、まとめ		グループワーク課題との取り組み

教科書

助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健 医学書院、我が国の母子保健 母子衛生研究会 母子保健事業団

参考書

母子保健の主なる統計 母子衛生研究会

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 授業内課題による（100%）

課題等に対する フィードバックの方法

ロールプレイ（演習）、グループワーク（KJ法）の演習の中で助言してゆく。

履修のポイント

メンバーとともに、発想を豊かにディスカッションしながら実践力をみがいてゆきましょう。

オフィス・アワー

授業の中でご相談ください。一緒に考えます。

科目区分

実践領域

講義コード	80160001							
講義名	地域母子保健II							
(副題)								
開講責任部署	別科助産専攻							
代表ナンバリングコード	UBR6115							
講義開講時期	通年							
講義区分	演習							
基準単位数	1							
代表曜日								
代表時限								
必修/選択	必修							
実務経験のある教員の有無	有							
実務経験のある教員の経歴と授業内容	臨床や教育現場において助産師として勤務した経験を活かし地域における母子保健活動推進のための助産師の活動を解説するとともに保健指導案の立案と実施を行う。							
学年	1学年							
担当教員								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>氏名</th> <th>所属</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教員</td> <td>古賀 裕子</td> <td>指定なし</td> </tr> </tbody> </table>			職種	氏名	所属	教員	古賀 裕子	指定なし
職種	氏名	所属						
教員	古賀 裕子	指定なし						

授業の概要と教育目標

地域における集団指導の企画運営を通して、地域における母子保健推進のための助産師の役割を理解する。本科目は、地域において助産師が実施する集団指導を見学し、地域における集団指導の実際を学生間で意見交換しながら企画運営する。地域の助産師のアドバイスを受け、母子保健を推進するための実践能力をつけることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、助産師として地域社会活動に参画し、妊婦とその家族への支援能力の修得を目指す。

到達目標

1. 地域で助産師が展開する母子保健活動を見学し、集団指導場面を具体的に説明できる。
2. 対象の特性を考慮し、地域における集団指導を企画できる。
3. 助言をもとに地域で生活する対象にあわせて集団指導案を作成できる。
4. 集団指導時、対象の反応に応じて臨機応変に対応できる。
5. 集団指導場面を振り返り今後の助産師活動への課題を見出すことができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	古賀裕子	オリエンテーション 授業内容・方法について 集団指導見学方法、見学時の視点について 課題提出について		予習90分：みどり市の両親学級について情報収集する。両親学級に関する資料を各自収集する。 復習90分：オリエンを聞いて集団指導、両親学級、指導案の

				企画について不足部分を調べる。
第2回	古賀裕子	<p>集団指導見学 保健センターで実際に行われている集団指導の見学、パパママクラスの見学（沐浴・抱っこ・おむつ交換など学生間で交代し指導内容・方法・必要物品・場面設営などを見学する）</p>	<p>見学した学びを発表し各自レポートにする。</p>	<p>予習90分：集団指導見学時の視点、実習要項の見学方法等、確認する。 復習90分：見学したことを視点にそってレポートする。</p>
第3回	古賀裕子	<p>集団指導見学 保健センターで実際に行われている集団指導の見学、パパママクラスの見学（沐浴・抱っこ・おむつ交換など学生間で交代し指導内容・方法・必要物品・場面設営などを見学する）</p>	<p>見学した学びを発表し各自レポートにする。</p>	<p>予習90分：集団指導見学時の視点、実習要項の見学方法等、確認する。 復習90分：見学したことを視点にそってレポートする。</p>
第4回	古賀裕子	<p>集団指導の企画・検討 地域で行われている指導場面の意見交換・まとめ各自のレポートを元に地域で行われている集団指導場面を発表しまとめる。（グループワーク）</p>	<p>グループで集団指導の内容についてディスカッションする。</p>	<p>予習90分：企画について、保健指導技術概論資料の確認。参考図書を読む。 復習90分：グループの意見交換を元に企画書を作成し、指導案を作成できるよう資料を収集する。</p>
第5回	古賀裕子	<p>グループワーク ・各自のレポートや意見交換でまとめた資料を元に、学生が実施する集団指導の指導案・媒体を作成する。 ・不明な点等あった場合、担当教員に相談しアドバイスを受ける。・作成した指導案と媒体は、教員が確認した後、地域の助産師にグループの代表者が提出する。指導された箇所は修正し再度保健センターに提出する。・完成した指導案をもとに練習を行う。・グループで積極的な意見交換をしたうえでデモンストレーションに臨む。</p>	<p>グループで積極的な意見交換をしたうえで指導案を作成する。</p>	<p>予習90分：グループワークに間に合うよう、各自指導案や媒体を作成する。また、役立つ資料を集める。各自、意見を出せるよう準備する。 復習90分：グループから上がった意見を参考に指導案や媒体を修正する。</p>
第6回	古賀裕子	<p>グループワーク ・各自のレポートや意見交換でまとめた資料を元に、学生が実施する集団指導の指導案・媒体を作成する。 ・不明な点等あった場合、担当教員に相談しアドバイスを受ける。・作成した指導案と媒体は、教員が確認した後、地域の助産師にグループの代表者が提出する。指導された箇所は修正し再度保健センターに提出する。・完成した指導案をもとに練習を行う。・グループで積極的な意見交換をしたうえでデモンストレーションに臨む。</p>	<p>グループで積極的な意見交換をしたうえで指導案を作成する。</p>	<p>予習90分：グループワークに間に合うよう、各自指導案や媒体を作成する。また、役立つ資料を集める。各自、意見を出せるよう準備する。 復習90分：グループから上がった意見を参考に指導案や媒体を修正する。</p>
				予習90分：グループ

第7回	古賀裕子	グループワーク ・各自のレポートや意見交換でまとめた資料を元に、学生が実施する集団指導の指導案・媒体を作成する。 ・不明な点等あった場合、担当教員に相談しアドバイスを求める。・作成した指導案と媒体は、教員が確認した後、地域の助産師にグループの代表者が提出する。指導された箇所は修正し再度保健センターに提出する。・完成した指導案をもとに練習を行う。・グループで積極的な意見交換をしたうえでデモンストレーションに臨む。	グループで積極的な意見交換をしたうえで指導案を作成する。	ワークに間に合うよう、各自指導案や媒体を作成する。また、役立つ資料を集める。各自、意見を出せるよう準備する。 復習90分：グループから上がった意見を参考に指導案や媒体を修正する。
第8回	古賀裕子	グループ練習 練習後、意見を出し合いよりよい集団指導となるよう修正する。デモンストレーション実施のための準備をする。	デモンストレーション実施のための準備をする。	予習90分：必要物品や場面設定をイメージし、不足が無いよう準備する。各自の担当箇所を練習する。 復習90分：指導案・媒体の修正。担当箇所の練習。
第9回	古賀裕子	地域の指導助産師と連絡を取り合い、都合の良い日にデモンストレーションをさせてもらう。意見を頂き指導案を修正する。	デモンストレーション実施	予習90分：各自練習。グループでの全体練習。 復習90分：指導者の助言をもとに話し合い、指導案・媒体の修正。
第10回	古賀裕子	地域の指導助産師と連絡を取り合い、都合の良い日にデモンストレーションをさせてもらう。意見を頂き指導案を修正する。	デモンストレーション実施	予習90分：各自練習。グループでの全体練習。 復習90分：指導者の助言をもとに話し合い、指導案・媒体の修正。
第11回	古賀裕子	集団指導の指導案修正と演習 修正・グループ練習	集団指導の演習 台本を見なくても話ができるよう繰り返し練習する。	予習90分：必要物品や場面設定をイメージし、不足が無いよう準備する。各自の担当箇所を練習する。 復習90分：指導案・媒体の修正。担当箇所の練習。
第12回	古賀裕子	集団指導の指導案の修正と演習 修正・グループ練習	集団指導の演習 台本を見なくても話ができるよう繰り返し練習する。	予習90分：必要物品や場面設定をイメージし、不足が無いよう準備する。各自の担当箇所を練習する。 復習90分：指導案・媒体の修正。担当箇所

			習する。	所の練習。
第13回	古賀裕子	集団指導の指導案の修正と演習 修正・グループ練習	集団指導の演習 台本を見なくても話ができるよう繰り返し練習する。	予習90分：必要物品や場面設定をイメージし、不足が無いよう準備する。各自の担当箇所を練習する。 復習90分：指導案・媒体の修正。担当箇所の練習。
第14回	古賀裕子	集団指導の実際 集団指導の実際 地域で行われている集団指導の実施 沐浴・抱っこ・おむつ交換	集団指導を実施	予習90分：各自練習。グループでの全体練習 復習90分：指導者の助言をもとに振り返りを行う。学び、反省点・検討事項・今後の課題を各自明確にしておく。
第15回	古賀裕子	集団指導の実際 集団指導の実際 地域で行われている集団指導の実施 沐浴・抱っこ・おむつ交換	集団指導を実施	予習90分：各自練習。グループでの全体練習 復習90分：指導者の助言をもとに振り返りを行う。学び、反省点・検討事項・今後の課題を各自明確にしておく。
第16回				

教科書

助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健 医学書院 我が国の母子保健 母子衛生研究会 母子保健事業団

参考書

指導案作成に役立つ雑誌（助産師向け雑誌・一般向け育児雑誌）、丸善プラネット マタニティサイクルの実践保健指導

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 レポート、グループワーク参加状況、集団指導の実施場面による。

課題等に対する フィードバックの方法

指導案作成、演習、等の中で助言してゆく。

履修のポイント

メンバーとともに、発想を豊かにディスカッションしながら実践力をみがいてゆきましょう。

オフィス・アワー

9:00～18:00 研究室 3 koga-yu@kiryu-u.ac.jp

科目区分

実践領域

講義コード	80160002							
講義名	地域母子保健II（別枠開講）							
(副題)								
開講責任部署	別科助産専攻							
代表ナンバリングコード								
講義開講時期	後期							
講義区分	演習							
基準単位数	1							
代表曜日								
代表時限								
必修/選択	必修							
実務経験のある教員の有無	有							
実務経験のある教員の経歴と授業内容	臨床や教育現場において助産師として勤務した経験を活かし地域における母子保健活動推進のための助産師の活動を解説するとともに保健指導案の立案と実施を行う。							
学年	1学年							
担当教員								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>氏名</th> <th>所属</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教員</td> <td>古賀 裕子</td> <td>指定なし</td> </tr> </tbody> </table>			職種	氏名	所属	教員	古賀 裕子	指定なし
職種	氏名	所属						
教員	古賀 裕子	指定なし						

授業の概要と教育目標

地域における集団指導の企画運営を通して、地域における母子保健推進のための助産師の役割を理解する。本科目は、地域において助産師が実施する集団指導を見学し、地域における集団指導の実際を学生間で意見交換しながら企画運営する。地域の助産師のアドバイスを受け、母子保健を推進するための実践能力をつけることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、助産師として地域社会活動に参画し、妊婦とその家族への支援能力の修得を目指す。

到達目標

1. 地域で助産師が展開する母子保健活動を見学し、集団指導場面を具体的に説明できる。
2. 対象の特性を考慮し、地域における集団指導を企画できる。
3. 助言をもとに地域で生活する対象にあわせて集団指導案を作成できる。
4. 集団指導時、対象の反応に応じて臨機応変に対応できる。
5. 集団指導場面を振り返り今後の助産師活動への課題を見出すことができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	古賀裕子	オリエンテーション 授業内容・方法について 集団指導見学方法、見学時の視点について 課題提出について		予習90分：みどり市の両親学級について情報収集する。両親学級に関する資料を各自収集する。 復習90分：オリエンを聞いて集団指導、両親学級、指導案の

				企画について不足部分を調べる。
第2回	古賀裕子	<p>集団指導見学 保健センターで実際に行われている集団指導の見学、パパママクラスの見学（沐浴・抱っこ・おむつ交換など学生間で交代し指導内容・方法・必要物品・場面設営などを見学する）</p>	<p>見学した学びを発表し各自レポートにする。</p>	<p>予習90分：集団指導見学時の視点、実習要項の見学方法等、確認する。 復習90分：見学したことを視点にそってレポートする。</p>
第3回	古賀裕子	<p>集団指導見学 保健センターで実際に行われている集団指導の見学、パパママクラスの見学（沐浴・抱っこ・おむつ交換など学生間で交代し指導内容・方法・必要物品・場面設営などを見学する）</p>	<p>見学した学びを発表し各自レポートにする。</p>	<p>予習90分：集団指導見学時の視点、実習要項の見学方法等、確認する。 復習90分：見学したことを視点にそってレポートする。</p>
第4回	古賀裕子	<p>集団指導の企画・検討 地域で行われている指導場面の意見交換・まとめ各自のレポートを元に地域で行われている集団指導場面を発表しまとめる。（グループワーク）</p>	<p>グループで集団指導の内容についてディスカッションする。</p>	<p>予習90分：企画について、保健指導技術概論資料の確認。参考図書を読む。 復習90分：グループの意見交換を元に企画書を作成し、指導案を作成できるよう資料を収集する。</p>
第5回	古賀裕子	<p>グループワーク ・各自のレポートや意見交換でまとめた資料を元に、学生が実施する集団指導の指導案・媒体を作成する。 ・不明な点等あった場合、担当教員に相談しアドバイスを受ける。・作成した指導案と媒体は、教員が確認した後、地域の助産師にグループの代表者が提出する。指導された箇所は修正し再度保健センターに提出する。・完成した指導案をもとに練習を行う。・グループで積極的な意見交換をしたうえでデモンストレーションに臨む。</p>	<p>グループで積極的な意見交換をしたうえで指導案を作成する。</p>	<p>予習90分：グループワークに間に合うよう、各自指導案や媒体を作成する。また、役立つ資料を集める。各自、意見を出せるよう準備する。 復習90分：グループから上がった意見を参考に指導案や媒体を修正する。</p>
第6回	古賀裕子	<p>グループワーク ・各自のレポートや意見交換でまとめた資料を元に、学生が実施する集団指導の指導案・媒体を作成する。 ・不明な点等あった場合、担当教員に相談しアドバイスを受ける。・作成した指導案と媒体は、教員が確認した後、地域の助産師にグループの代表者が提出する。指導された箇所は修正し再度保健センターに提出する。・完成した指導案をもとに練習を行う。・グループで積極的な意見交換をしたうえでデモンストレーションに臨む。</p>	<p>グループで積極的な意見交換をしたうえで指導案を作成する。</p>	<p>予習90分：グループワークに間に合うよう、各自指導案や媒体を作成する。また、役立つ資料を集める。各自、意見を出せるよう準備する。 復習90分：グループから上がった意見を参考に指導案や媒体を修正する。</p>
				予習90分：グループ

第7回	古賀裕子	グループワーク ・各自のレポートや意見交換でまとめた資料を元に、学生が実施する集団指導の指導案・媒体を作成する。 ・不明な点等あった場合、担当教員に相談しアドバイスを求める。・作成した指導案と媒体は、教員が確認した後、地域の助産師にグループの代表者が提出する。指導された箇所は修正し再度保健センターに提出する。・完成した指導案をもとに練習を行う。・グループで積極的な意見交換をしたうえでデモンストレーションに臨む。	グループで積極的な意見交換をしたうえで指導案を作成する。	ワークに間に合うよう、各自指導案や媒体を作成する。また、役立つ資料を集める。各自、意見を出せるよう準備する。 復習90分：グループから上がった意見を参考に指導案や媒体を修正する。
第8回	古賀裕子	グループ練習 練習後、意見を出し合いよりよい集団指導となるよう修正する。デモンストレーション実施のための準備をする。	デモンストレーション実施のための準備をする。	予習90分：必要物品や場面設定をイメージし、不足が無いよう準備する。各自の担当箇所を練習する。 復習90分：指導案・媒体の修正。担当箇所の練習。
第9回	古賀裕子	地域の指導助産師と連絡を取り合い、都合の良い日にデモンストレーションをさせてもらう。意見を頂き指導案を修正する。	デモンストレーション実施	予習90分：各自練習。グループでの全体練習。 復習90分：指導者の助言をもとに話し合い、指導案・媒体の修正。
第10回	古賀裕子	地域の指導助産師と連絡を取り合い、都合の良い日にデモンストレーションをさせてもらう。意見を頂き指導案を修正する。	デモンストレーション実施	予習90分：各自練習。グループでの全体練習。 復習90分：指導者の助言をもとに話し合い、指導案・媒体の修正。
第11回	古賀裕子	集団指導の指導案修正と演習 修正・グループ練習	集団指導の演習 台本を見なくても話ができるよう繰り返し練習する。	予習90分：必要物品や場面設定をイメージし、不足が無いよう準備する。各自の担当箇所を練習する。 復習90分：指導案・媒体の修正。担当箇所の練習。
第12回	古賀裕子	集団指導の指導案の修正と演習 修正・グループ練習	集団指導の演習 台本を見なくても話ができるよう繰り返し練習する。	予習90分：必要物品や場面設定をイメージし、不足が無いよう準備する。各自の担当箇所を練習する。 復習90分：指導案・媒体の修正。担当箇所

			習する。	所の練習。
第13回	古賀裕子	集団指導の指導案の修正と演習 修正・グループ練習	集団指導の演習 台本を見なくても話ができるよう繰り返し練習する。	予習90分：必要物品や場面設定をイメージし、不足が無いよう準備する。各自の担当箇所を練習する。 復習90分：指導案・媒体の修正。担当箇所の練習。
第14回	古賀裕子	集団指導の実際 集団指導の実際 地域で行われている集団指導の実施 沐浴・抱っこ・おむつ交換	集団指導を実施	予習90分：各自練習。グループでの全体練習 復習90分：指導者の助言をもとに振り返りを行う。学び、反省点・検討事項・今後の課題を各自明確にしておく。
第15回	古賀裕子	集団指導の実際 集団指導の実際 地域で行われている集団指導の実施 沐浴・抱っこ・おむつ交換	集団指導を実施	予習90分：各自練習。グループでの全体練習 復習90分：指導者の助言をもとに振り返りを行う。学び、反省点・検討事項・今後の課題を各自明確にしておく。
第16回				

教科書

助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健 医学書院 我が国の母子保健 母子衛生研究会 母子保健事業団

参考書

指導案作成に役立つ雑誌（助産師向け雑誌・一般向け育児雑誌）、丸善プラネット マタニティサイクルの実践保健指導

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 レポート、グループワーク参加状況、集団指導の実施場面による。

課題等に対する フィードバックの方法

指導案作成、演習、等の中で助言してゆく。

履修のポイント

メンバーとともに、発想を豊かにディスカッションしながら実践力をみがいてゆきましょう。

オフィス・アワー

9:00～18:00 研究室 3 koga-yu@kiryu-u.ac.jp

科目区分

実践領域

講義コード	80170001
講義名	助産管理
(副題)	
開講責任部署	別科助産専攻
代表ナンバリングコード	UBR6116
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	助産師の臨床経験を活かし、周産期の母子が健康と安全に過ごせるための環境とケアシステムを解説する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	古賀 裕子	指定なし
教員	櫛田 恵津子	指定なし
教員	関根 孝子	指定なし

授業の概要と教育目標

基本的な助産業務・管理及び病産院・助産所の運営の基本的理解と助産業務の評価を行い、調整できるための基礎を学ぶ。その上で具体的手法としての管理のプロセスと助産を取り巻く状況について学ぶ。なお、本科目は助産活動の多様性に対応し、活動の場における管理実践を行うための方法を理解することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、助産師としての職業倫理を深めチーム医療に参画するとともに地域社会発展に寄与できる能力の取得を目指すものとする。

到達目標

1. 助産業務、管理の基本について、その特徴、法的責任、職業倫理を含めて説明できる。
2. 助産管理プロセスについて説明できる。
3. 産科病棟・外来、助産所の管理運営とその特徴が説明できる。
4. 社会が助産師に期待する様々な問題を認識し、今後に向けた対応を考えることができる。
5. 助産師の就業継続や将来像について考えることができる。
6. 災害時、助産師としての役割と対応について学び、実践への心構えができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	古賀裕子	助産管理の基本と助産業務管理の過程 助産業務管理の方法 助産業務管理と医療経済		予習90分：助産学講座10章を読む 復習90分：配布資料を見直す
	古賀	活動場所の特性と現状		予習90分：助産学講座10章を読む

第2回	裕子	診療所、助産所、院内助産所、周産母子医療センター・病院		復習90分：配布資料を見直す
第3回	関根孝子	病産院における助産業務管理① 助産業務管理の過程（助産管理と助産業務管理、業務の査定、目標管理の実践プロセス、業務計画の策定/評価/目標設定） 助産業務管理の方法と実践（組織管理、書類管理、財務管理、業務の質の評価について）		予習各90分：助産学講座104章ABを読む 復習各90分：配布資料を見直す
第4回	関根孝子	病産院における助産業務管理② 助産業務管理の方法と実践（組織管理、書類管理、財務管理、業務の質の評価について）		予習各90分：助産学講座104章ABを読む 復習各90分：配布資料を見直す
第5回	榎田恵津子	病産院における助産業務管理③ 産科棟における助産管理（人員配置、看護体制、労働条件、就業規則、勤務計画、アメニティについて、クリティカルパスについて）		予習90分：助産学講座104章Cを読む 復習90分：配布資料を見直す
第6回	榎田恵津子	病産院における助産業務管理④ 外来の助産管理（産科外来、助産外来、母乳外来、専門外来）		予習90分：助産学講座104章Eを読む 復習90分：配布資料を見直す
第7回	榎田恵津子	院内助産所における業務管理の実際① 院内助産とは、管理者の役割、人事管理、助産所の管理運営の実際について（経営、サービスの向上、リスクマネジメント、医療との連携等、これからの課題）		予習90分：助産学講座104章Dを読む 復習90分：配布資料を見直す
第8回	榎田恵津子	院内助産所における業務管理の実際② 院内助産とは、管理者の役割、人事管理、助産所の管理運営の実際について（経営、サービスの向上、リスクマネジメント、医療との連携等、これからの課題）		予習90分：助産学講座104章Dを読む 復習90分：配布資料を見直す
第9回	榎田恵津子	周産期助産管理システム① NICUにおける管理システム、周産期搬送システム、オープンシステム NICU管理の基本的知識（体温管理、モニタリング、輸液、栄養法、環境、デベロッパメンタルケア）		予習90分：助産学講座103章A・B1、助産学講座8第5章P192～P225、助産学講座36章Cを読む 復習90分：配布資料を見直す
第10回	榎田恵津子	周産期助産管理システム② 周産期の医療事故とリスクマネージメント（周産期医療事故、助産業務におけるリスクマネージメント）		予習90分：助産学講座103章A・B1、助産学講座8第5章P192～P225、助産学講座36章Cを読む 復習90分：配布資料を見直す
第11回	関根孝子	災害と助産師 1.災害とは 2.災害時における助産管理と母子のケア 3.被災時の心的反応のケア		予習90分：助産学講座103章B2を読む 復習90分：配布資料を見直す
				予習90分：助産学講座10

第12回	古賀裕子	関係法規と助産師の義務・責任 関係法規：医療法、母子保健法、母体保護法、児童福祉法、戸籍法、刑法、労働基準法等		2章、助産学講座1付章関係法規の医療法、医療法施行規則(抄)を読む 復習90分：配布資料を見直す
第13回	古賀裕子	助産管理システムの構築① 助産業務ガイドラインに基づく院内助産開設に向けてのプロセス（法律、届け出、理念・方針、組織、業務体制、安全・災害対策、経費）		予習90分：助産学講座10 5章 助産業務ガイドライン2024を読む 復習90分：配布資料を見直す
第14回	古賀裕子	助産管理システムの構築② 助産所開設に向けてのプロセス（法律、届け出、理念・方針、組織、業務体制、安全・災害対策、経費）(演習)	グループワーク 助産所開設のプロセスに沿って、詳細を検討し発表する。	予習90分：助産学講座10 5章 助産業務ガイドライン2024を読む 復習90分：配布資料を見直す
第15回	古賀裕子	助産管理システムの構築③ 助産所開設に向けてのプロセス（法律、届け出、理念・方針、組織、業務体制、安全・災害対策、経費）(演習) 産科混合病棟について	グループワーク 助産所開設のプロセスに沿って、詳細を検討し発表する。	予習90分：助産学講座10 5章 助産業務ガイドライン2024を読む 復習90分：配布資料を見直す

教科書

助産学講座10 助産管理、助産学講座1 助産学概論、助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健
我部山キヨ子ら編 医学書院、助産業務ガイドライン2024 日本助産師会

参考書

助産師業務要覧I,II,III編,第3版 福井トシ子 日本看護協会、助産所開業マニュアル 日本助産師会

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 筆記試験60% レポート40%

課題等に対する フィードバックの方法

授業内でのレポート課題、グループ活動による演習およびその成果発表を通して、学びの言語化を行ってゆく。

履修のポイント

助産学実習や助産所実習における助産管理の実際を理解していくことにつながってゆきます。
助産師の活動の場で生かせる知識として身に付けてゆきましょう。

オフィス・アワー

平日の9時～18時 koga-yu@kiryu-u.ac.jp

科目区分

実践領域

講義コード	80180001
講義名	助産学実習
(副題)	
開講責任部署	別科助産専攻
代表ナンバリングコード	UBR6117
講義開講時期	通年
講義区分	実習
基準単位数	11
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	助産師経験のある教員が臨床指導者と連携し、分娩介助、保健指導等の技術実践をサポートしてゆく。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	木村 優子	指定なし
教員	古賀 裕子	指定なし
教員	櫻井 加奈	指定なし

授業の概要と教育目標

妊娠期、産褥期・新生児期・乳児期の助産診断とケアに必要な技術をEBM、NBMの視点から実習を通して修得する。受け持った対象の個別性をとらえ、備えている能力や機能を発揮できるよう支援する技術と知識、態度を養うことを目標とする。

* 産科棟実習においては正常経過が予測される妊産褥婦及び新生児を受けもち、一連の助産過程を通して援助を展開し、評価、考察を行い次のケアへとつなげる。分娩期においては10例の分娩介助を行い、それぞれの分娩、産褥、新生児などの助産過程が展開できることを目標とする。また、そのうち1例は妊娠中期以降、可能な限り長期に受け持ち、産婦に合わせて分娩期に寄り添い、分娩介助後は退院迄及び1ヶ月健診までの母児のケアと健康診査を行い、個別保健指導を中心とする助産過程を展開する。

* リーダーまたは師長の業務観察を通して日常の助産管理の実際を学びカンファレンス後、レポートにまとめる。

* NICUに入院している児の特徴とケアの方法を学ぶ。

* 地域の妊婦とその家族に向けての集団指導と乳児健診を見学し、妊婦、乳児、家族への切れ目のない支援の方法を学ぶ。

なお、この科目は、受胎調節実地指導員講習の必修科目「実習」に該当している。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、EBM(Evidence Based Midwifery)、NBM(Narrative Based Midwifery)の視点から、母子の健康レベルに応じた的確な支援・指導技術の習得と多様な対象の個別性の理解を深め、自己の助産観の基盤を培うことを目指すものである。

到達目標

1. 対象者の発達課題や背景を把握し、助産計画を立案できる。
2. 妊婦・産婦・褥婦・新生児および家族を統合的に理解し、援助できる。
3. 正常分娩を安全に介助できる。
4. 助産管理に関して知識、関心を深める。

5. 地域における保健医療チームと助産師の連携、役割と責務を理解した上で活動に参加し、実践できる。

6. NICUにおける児の生理的特徴やケアの実践、助産師の役割を理解することができる。

授業計画

授業内容と方法、課題	
第1回	分娩介助実習 10例の分娩介助(分娩1期から4期)を助産診断のもと、実施する。1例毎の分娩介助技術を担当者と振り返りを行うとともに、3日以内に助産過程を記録にまとめ提出する。1例毎に教員が記録指導を行うので課題を明確にし次回に生かす。
第2回	継続受持実習 1例の妊婦の承諾を得て妊娠期から産後1か月を受け持ち、妊娠期、分娩期、産褥期、新生児期の保健指導、並びに分娩介助・産褥・育児・新生児ケアを指導者や教員とともに実施する。その都度の実践時に指導を行うが、助産過程を経過毎に記述記録をまとめ教員に提出する。後日、コメントや修正点を伝える。
第3回	間接介助実習 分娩介助者の介助と新生児のケアを行う。直接介助者と協力し安全に、速やかに進行できるようにコミュニケーションを密にとり実施する。
第4回	管理実習 実習病棟師長またはリーダーの1日の行動を観察し、カンファレンスで考察する。時間が空いたところで、指導者と振り返り、質疑応答を行う。
第5回	地域実習 保健センターで開催している乳児健診を見学する。見学記録を指導者に提出し、指導者のコメントが入ったものを教員に提出する。
第6回	NICU実習 NICU病棟で2日間の実習を行う。オリエンテーション時、児の生理的特徴や環境の調整、ケアの実践における注意事項を学び、実践を通してケア方法を学ぶとともに家族への看護について考察する。カンファレンスでの発言を通して学びを発表する。実習記録を教員に提出する。
第7回	見学実習 帝王切開術、新生児ケア見学後、担当教員に実習記録を提出する。

教科書

資料：桐生大学別科助産専攻 助産学実習要項、桐生大学別科助産専攻 助産診断類型と診断指標

参考書

実習図書：有

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上、分娩記録(助産過程45%・技術25%) 継続事例30% NICU実習記録・地域実習記録・管理実習レポートを考慮する。(臨地実習の状況により変更あり)

課題等に対する

フィードバックの方法

分娩介助記録は3日以内に教員に提出しコメントを得て、速やかに次の分娩介助に生かしてゆくこと。

履修のポイント

積極的に対象との関わりを持つことで沢山の学びが生まれます。メンバーシップも重要な課題となります。

オフィス・アワー

kimura-yu@kiryu-u.ac.jp koga-yu@kiryu-u.ac.jp sakurai-ka@kiryu-u.ac.jp

科目区分

実践領域

講義コード	80190001
講義名	助産研究
(副題)	
開講責任部署	別科助産専攻
代表ナンバリングコード	UBR6118
講義開講時期	通年
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	助産師の臨床経験や研究経験を活かし、母性（父性）における疑問や課題に着目し、各自のテーマにそって文献研究できるようサポートする。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	木村 優子	指定なし
教員	石井 広二	指定なし
教員	黒澤 やよい	指定なし
教員	古賀 裕子	指定なし

授業の概要と教育目標

助産学に貢献できる研究（正常領域の妊産褥婦、母性看護、助産学、ウィメンズヘルス等）について考える。なお本科目は、助産の視点から研究の意義を理解し、研究の一連の過程を修得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、助産学に貢献できる課題を見出し、倫理的に配慮しながら文献レビュー/クリティークを通して論文の作成、発表、抄録の作成ができることを目指す。

到達目標

1. 助産学に関連した研究の目的、意義について理解する。
2. 助産学における研究のテーマが設定できる。
3. テーマに沿った文献の検索ができる。
4. 検索した文献をクリティークできる。
5. 研究の手続きが理解できる。
6. 倫理的に配慮した論文をまとめることができる。
7. 方法に合ったデータ収集ができる。
8. 適切な分析方法を用いて結果を抽出できる。
9. 一連の過程を経て論文を作成できる。
10. 効果的な口頭発表の方法を理解し実践できる。

授業計画

担当	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内	予習・復習と そのために必要な時間

	者		容	
第1回	木村優子	助産学を支える理論と研究 助産学を構成する理論、研究と助産師 研究テーマの検討、研究の方法		予習90分：助産学講座1 第3章 P 54-86を読む 復習90分：配布資料を見直す
第2回	木村優子	研究と倫理 研究者としての倫理的配慮		予習90分：助産学講座1 第4章 P 88-96を読む 復習90分：配布資料を見直す
第3回	木村優子	文献検索 文献の検索方法と収集 パソコンを使用し、医中誌・メディカルオンライン・グーグルスカラー等を用いて文献検索を実施	演習	予習90分：助産学講座1 第3章 P 68-69を読む 復習90分：配布資料を見直す
第4回	木村優子	質的研究とは 質的研究の方法、特徴について		予習90分：助産学講座1 第3章 P 78-82を読む 復習90分：配布資料を見直す
第5回	木村優子	質的研究のプロセス演習 事例を用いて質的研究のラベルワーク (GW)演習	演習 グループワーク	予習90分：前回の講義で配布された資料をよく読み、ラベルワークやネームを自分で考えグループワークに臨む。 復習90分：配布資料を見直す 発表されている論文とグループワークの結果を照らし合わせる
第6回	古賀裕子	量的研究とは 量的研究の方法、特徴について		予習90分:助産学講座1 3章の量的研究を読む。 復習90分:配布資料を見直す
第7回	古賀裕子	文献クリティーク 事例を用いてのクリティーク演習	演習	予習90分:配布資料を見直す。 復習90分:配布資料を見直す
第8回	石井広二	データ処理について① 量的研究の単純集計集計について (主にExcel)	演習	予習90分：助産学講座1 3章の量的データ分析法について読む。 復習90分：パソコン操作
第9回	石井広二	データ処理について② 量的研究の検定について (主にExcel)	演習	予習90分：助産学講座1 3章の量的データ分析法について読む。 復習90分：パソコン操作
第10回	古賀裕子	文献研究とは 文献研究について 文献研究の進め方、研究計画書の作成		予習90分：助産学講座1 3章を読む。 復習90分：計画書作成
第11回	古賀裕子	文献研究の実際 文献研究のまとめかたとプレゼンテーション		予習90分：助産学講座1 3章を読む。 復習90分：配布資料を見直す
	木	ケーススタディ		予習90分：ケーススタディ例を読む

第12回	村優子	ケーススタディについて/ケーススタディのまとめ方		復習90分：配布資料を見直す
第13回	木村優子 黒澤やよい 古賀裕子	研究のまとめ ①ケーススタディ ②文献研究発表会 (発表時間1人10分/質疑応答10分)	発表	予習90分：論文課題 発表練習 復習90分：参加者のコメント内容を振り返る
第14回	木村優子 黒澤やよい 古賀裕子	研究のまとめ ①ケーススタディ ②文献研究発表会 (発表時間1人10分/質疑応答10分)	発表	予習90分：論文課題 発表練習 復習90分：参加者のコメント内容を振り返る
第15回	木村優子 黒澤やよい 古賀裕子	研究のまとめ ①ケーススタディ ②文献研究発表会 (発表時間1人10分/質疑応答10分)	発表	予習90分：論文課題 発表練習 復習90分：参加者のコメント内容を振り返る

教科書

助産学講座1 基礎助産学(1) 助産学概論 医学書院、黒田裕子の看護研究 Step by Step(6版) 医学書院、その他配布資料に基づく

参考書

わかりやすいケーススタディの進め方 松本孚/森田夏実編 照林社、よくわかる看護研究論文のクリティーク 山川みやえ他 日本看護協会出版会

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 助産学実習後に行うケーススタディと文献研究のまとめ・発表 各自で課題をまとめる際の積極性、内容、発表会の協力度などにより評価 ケーススタディ：50% 文献研究：50%

課題等に対する

フィードバックの方法

課題をクリアするためには時間外の学習時間が必須。時間調整をし、文献検索、分析などを行うこと。

ケーススタディと文献研究は担当教員と連絡を取り合いアドバイスの下、各自の研究を進める。

履修のポイント

助産学に貢献できるテーマの設定、目的、方法、倫理的対応、研究計画書、計画書に基づいた実施、ケーススタディのまとめ方の習得

オフィス・アワー

9～18時の在室時 kimura-yu@kiryu-u.ac.jp kurosawa-ya@kiryu-u.ac.jp koga-yu@kiryu-u.ac.jp

科目区分

総合領域

講義コード	80190002
講義名	助産研究（別枠開講）
(副題)	
開講責任部署	別科助産専攻
代表ナンバリングコード	
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	助産師の臨床経験や研究経験を活かし、母性（父性）における疑問や課題に着目し、各自のテーマにそって文献研究できるようサポートする。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	木村 優子	指定なし
教員	石井 広二	指定なし
教員	黒澤 やよい	指定なし
教員	古賀 裕子	指定なし

授業の概要と教育目標

助産学に貢献できる研究（正常領域の妊産褥婦、母性看護、助産学、ウィメンズヘルス等）について考える。なお本科目は、助産の視点から研究の意義を理解し、研究の一連の過程を修得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、助産学に貢献できる課題を見出し、倫理的に配慮しながら文献レビュー/クリティークを通して論文の作成、発表、抄録の作成ができることを目指す。

到達目標

1. 助産学に関連した研究の目的、意義について理解する。
2. 助産学における研究のテーマが設定できる。
3. テーマに沿った文献の検索ができる。
4. 検索した文献をクリティークできる。
5. 研究の手続きが理解できる。
6. 倫理的に配慮した論文をまとめることができる。
7. 方法に合ったデータ収集ができる。
8. 適切な分析方法を用いて結果を抽出できる。
9. 一連の過程を経て論文を作成できる。
10. 効果的な口頭発表の方法を理解し実践できる。

授業計画

担当	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内	予習・復習と そのために必要な時間

	者		容	
第1回	木村優子	助産学を支える理論と研究 助産学を構成する理論、研究と助産師 研究テーマの検討、研究の方法		予習90分：助産学講座1 第3章 P 54-86を読む 復習90分：配布資料を見直す
第2回	木村優子	研究と倫理 研究者としての倫理的配慮		予習90分：助産学講座1 第4章 P 88-96を読む 復習90分：配布資料を見直す
第3回	木村優子	文献検索 文献の検索方法と収集 パソコンを使用し、医中誌・メディカルオンライン・グーグルスカラー等を用いて文献検索を実施	演習	予習90分：助産学講座1 第3章 P 68-69を読む 復習90分：配布資料を見直す
第4回	木村優子	質的研究とは 質的研究の方法、特徴について		予習90分：助産学講座1 第3章 P 78-82を読む 復習90分：配布資料を見直す
第5回	木村優子	質的研究のプロセス演習 事例を用いて質的研究のラベルワーク (GW)演習	演習 グループワーク	予習90分：前回の講義で配布された資料をよく読み、ラベルワークやネームを自分で考えグループワークに臨む。 復習90分：配布資料を見直す 発表されている論文とグループワークの結果を照らし合わせる
第6回	古賀裕子	量的研究とは 量的研究の方法、特徴について		予習90分:助産学講座1 3章の量的研究を読む。 復習90分:配布資料を見直す
第7回	古賀裕子	文献クリティーク 事例を用いてのクリティーク演習	演習	予習90分:配布資料を見直す。 復習90分:配布資料を見直す
第8回	石井広二	データ処理について① 量的研究の単純集計集計について (主にExcel)	演習	予習90分：助産学講座1 3章の量的データ分析法について読む。 復習90分：パソコン操作
第9回	石井広二	データ処理について② 量的研究の検定について (主にExcel)	演習	予習90分：助産学講座1 3章の量的データ分析法について読む。 復習90分：パソコン操作
第10回	古賀裕子	文献研究とは 文献研究について 文献研究の進め方、研究計画書の作成		予習90分：助産学講座1 3章を読む。 復習90分：計画書作成
第11回	古賀裕子	文献研究の実際 文献研究のまとめかたとプレゼンテーション		予習90分：助産学講座1 3章を読む。 復習90分：配布資料を見直す
	木	ケーススタディ		予習90分：ケーススタディ例を読む

第12回	村優子	ケーススタディについて/ケーススタディのまとめ方		復習90分：配布資料を見直す
第13回	木村優子 黒澤やよい 古賀裕子	研究のまとめ ①ケーススタディ ②文献研究発表会 (発表時間1人10分/質疑応答10分)	発表	予習90分：論文課題 発表練習 復習90分：参加者のコメント内容を振り返る
第14回	木村優子 黒澤やよい 古賀裕子	研究のまとめ ①ケーススタディ ②文献研究発表会 (発表時間1人10分/質疑応答10分)	発表	予習90分：論文課題 発表練習 復習90分：参加者のコメント内容を振り返る
第15回	木村優子 黒澤やよい 古賀裕子	研究のまとめ ①ケーススタディ ②文献研究発表会 (発表時間1人10分/質疑応答10分)	発表	予習90分：論文課題 発表練習 復習90分：参加者のコメント内容を振り返る

教科書

助産学講座1 基礎助産学(1) 助産学概論 医学書院、黒田裕子の看護研究 Step by Step(6版) 医学書院、その他配布資料に基づく

参考書

わかりやすいケーススタディの進め方 松本孚/森田夏実編 照林社、よくわかる看護研究論文のクリティーク 山川みやえ他 日本看護協会出版会

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 助産学実習後に行うケーススタディと文献研究のまとめ・発表 各自で課題をまとめる際の積極性、内容、発表会の協力度などにより評価 ケーススタディ：50% 文献研究：50%

課題等に対する

フィードバックの方法

課題をクリアするためには時間外の学習時間が必須。時間調整をし、文献検索、分析などを行うこと。

ケーススタディと文献研究は担当教員と連絡を取り合いアドバイスの下、各自の研究を進める。

履修のポイント

助産学に貢献できるテーマの設定、目的、方法、倫理的対応、研究計画書、計画書に基づいた実施、ケーススタディのまとめ方の習得

オフィス・アワー

9～18時の在室時 kimura-yu@kiryu-u.ac.jp kurosawa-ya@kiryu-u.ac.jp koga-yu@kiryu-u.ac.jp

科目区分

総合領域

講義コード	80200001
講義名	不妊とケア
(副題)	
開講責任部署	別科助産専攻
代表ナンバリングコード	UBC6101
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	産科医、助産師、不妊カウンセラーとしての実務経験をもとに不妊の治療とケアを解説する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	境原 三津夫	指定なし
教員	岡崎 友香	指定なし

授業の概要と教育目標

晩婚化・少子化などの社会的事情により不妊治療への関心が高まる中で、不妊に悩むカップルの現況と生殖補助技術(体外受精等)を用いた不妊治療の概要を理解し、個々の対応に求められる助産師の役割を学ぶ。なお本科目は、対象の多様性を理解し、社会性をとらえた広い視野からの知識と技術を持つことを目標とする。受胎調節実地指導員講習の必修科目「考査」に該当している。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、女性のセクシュアリティに関する発達課題やライフサイクルに沿った健康問題に対応できる知識の修得を目指す。

到達目標

1. 不妊カップルを取り巻く社会的状況及び心理的背景を知る。
2. 不妊治療にかかわる技術の実際を学び、臨床におけるサポートに必要な知識を修得できる。
3. 女性のライフサイクル（特に不妊）に沿った看護ができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	境原三津夫	不妊治療をめぐる諸事情(1) ①不妊症とは ②不妊症の頻度と原因	講義資料を事前に配布する。講義の進め方、予習・復習の仕方などを説明する。講義は適宜、質問をしながらインターアクティブに行う。	予習90分。講義資料を読み学習する。 復習90分。講義の内容を踏まえ、資料を見直し復習する。
				予習90分。講義資

第2回	境原三津夫	不妊治療をめぐる諸事情(2) ①不妊治療に伴う身体的影響 ②社会資源と治療支援	講義は適宜、質問をしながらインターアクティブに行う。	料を読み学習する。 復習90分。講義の内容を踏まえ、資料を見直し復習する。
第3回	境原三津夫	不妊症の検査と治療(1) ①不妊治療の現状 ②不妊検査	講義は適宜、質問をしながらインターアクティブに行う。	予習90分。講義資料を読み学習する。 復習90分。講義の内容を踏まえ、資料を見直し復習する。
第4回	境原三津夫	不妊症の検査と治療(2) ①生殖補助医療の実際 ②助成制度	講義は適宜、質問をしながらインターアクティブに行う。	予習90分。講義資料を読み学習する。 復習90分。講義の内容を踏まえ、資料を見直し復習する。
第5回	境原三津夫	不妊治療と生命倫理 子どもを産む選択・子どもを育てる選択 家族と法	講義は適宜、質問をしながらインターアクティブに行う。	予習90分。講義資料を読み学習する。 復習90分。講義の内容を踏まえ、資料を見直し復習する。
第6回	岡崎友香	不妊症患者の背景 不妊患者の心理・社会的背景について 不妊カウンセラーの役割	バズセッション	予習90分：助産学講座4 1章Cを読む 復習90分：配布資料を見直す
第7回	岡崎友香	不妊症の看護(1) 受診前、初回受診時、検査時、治療時、治療終了時の看護	バズセッション	予習90分：助産学講座4 1章Cを読む 復習90分：配布資料を見直す
第8回	岡崎友香	不妊症の看護(2) 不妊治療後の妊産褥婦の看護	バズセッション	予習90分：助産学講座4 1章Cを読む 復習90分：配布資料を見直す

教科書

助産学講座4 基礎助産学 [4] 母子の心理・社会学 医学書院 助産助産学講座2 基礎助産学 [2] 母子の基礎科学 我部山キヨ子ら編 医学書院、我が国の母子保健 母子保健事業団

参考書

不妊治療ガイドンス 荒木茂雄ほか 医学書院、生殖補助医療技術学テキスト 荒木康久 医歯薬出版、保健医療従事者必携 不妊相談の手引き 久保晴海監 母子保健事業団

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 筆記試験100%

課題等に対するフィードバックの方法

授業中での質問や問題提議を随時受け付けます。積極的な学生間討議が各学生の学修を深める機会となるため講師からの発問も積極的に行っていくので考えを発表してほしい。

履修のポイント

不妊治療後の妊娠で分娩を迎える方も多く、新聞・テレビなどのメディアに取り上げられることも多いので関心をもって聴講してほしい。

オフィス・アワー

在室時、いつでも可。メールにてアポイントをとるのが望ましい。
質問にはメールでも対応します。

科目区分

総合領域

講義コード	80210001	
講義名	国際助産師論	
(副題)		
開講責任部署	別科助産専攻	
代表ナンバリングコード	UBC6102	
講義開講時期	前期	
講義区分	講義	
基準単位数	1	
代表曜日		
代表時限		
必修/選択	選択	
実務経験のある教員の有無	有	
実務経験のある教員の経歴と授業内容	海外の助産活動に携わった助産師の立場から、また、女自立自立支援事業に携わる立場から海外（特に途上国）の母子保健の現状と課題を解説し、国際的視野で関心を深め助産師に期待される役割を考える機会とする。	
学年	1学年	
担当教員		
職種	氏名	所属
教員	大久保 麻矢	指定なし

授業の概要と教育目標

助産師の立場から行う外国人妊産婦への指導・支援、および途上国の母子保健に関する問題と解決のための国際協力について学ぶ。なお本科目では、途上国が抱える母子保健に関する問題とその原因を理解し、解決を目指す国際協力と助産師が果たす役割を考えることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、専門職業人として社会的、国際的な視野を持ち、助産学の継続的な発展の基盤となる知識・技術の修得を目指す。

到達目標

1. 世界の健康問題について考えを述べることができる。
2. 途上国の小児保健の現状を説明できる。
3. 途上国のリプロダクティブヘルス/ライツを妨げる要因を討議できる。
4. 母子保健向上のための国際協力と助産師の活動について考えを述べることができる。
5. 途上国の母子保健を含むリプロダクティブヘルスの現状を説明できる。
6. 途上国の母子保健を含むリプロダクティブヘルスの活動を述べるることができる。
7. 母子保健向上のための国際協力と助産師の役割について討議できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な 時間
第1回	古賀	母子保健を含むリプロダクティブ・ヘルスの課題を解決するために行われている国際協力の概要を知り、地域保	討議	予習90分:JOICFPについて調べる。SRHR

	裕子	健活動の在り方を考える課題討議。(担当 矢口真琴先生 橋本望先生)		NOTE持参 復習90分:配布資料を見直す
第2回	古賀裕子	開発途上国の事例を踏まえ、日本の若者の性の現状とセクシャル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ啓発の活動事例を知り、自分ごととして考える課題討議。(担当 矢口真琴先生 橋本望先生)	討議	予習90分:JOICFPについて調べる。SRHR NOTE持参 復習90分:配布資料を見直す
第3回	大久保麻矢	異なる文化を知る。 統計から世界中の母子の現状を理解する。		予習90分:助産学講座9 6章A 1、我が国の母子保健I・IIを読む。 復習90分:配布資料を見直す
第4回	大久保麻矢	世界の保健医療問題 持続可能な開発目標 (SDGs) に掲げられた乳幼児死亡率の減少、妊産婦の健康改善の達成を必要とする途上国の現状を学ぶ。		予習90分:助産学講座9 6章A3を読む。 復習90分:配布資料を見直す
第5回	大久保麻矢	世界中の女性が置かれている現状・問題を理解する。リプロダクティブヘルス/ライツについて学び、途上国でどのようにこれを保障するか考える。		予習90分:助産学講座9 6章A3を読む。 復習90分:配布資料を見直す
第6回	大久保麻矢	多くの途上国で活躍している伝統的産婆 (TBA)について知り助産師との違いについて考える。		予習90分:TBAについて調べる。 復習90分:配布資料を見直す
第7回	大久保麻矢	在日外国人女性やその家族の健康問題、必要な支援について事例を通し考える。		予習90分:助産学講座9 6章Cを読む。 復習90分:配布資料を見直す
第8回	大久保麻矢	世界の女性や母子が置かれている現状を再確認する。 助産師としての役割を考える。		予習90分:これまでの資料を読む。 復習90分:配布資料を見直す

教科書

講師資料、助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健 我部山キヨ子ら編 医学書院、IPPF(国際家族計画連盟) セクシャル/リプロダクティブ・ヘルス用語集 芦野由利子・北村邦夫監修 財団(ジョイセフ)、SRHR NOTE(ジョイセフ)

参考書

国際看護学入門 国際看護研究会編 医学書院、Where there is no doctor(David Werner,Hesperian Foundatin)、世界人口白書

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 りアクションペーパー及びレポート課題100%(大久保100%)

課題等に対する

フィードバックの方法

講義中、質問や問題提議を随時受け付けます。積極的な学生間討議が各学生の学修を深める機会となるため講師からの発問も積極的に行いますので皆さん積極的に意見を述べて下さい。

履修のポイント

母子保健は途上国の健康問題の主要な部分を占めており、助産師の視点から問題を考える機会として下さい。

オフィス・アワー

講義時間内、または、前後・休憩時間などに相談してください。

科目区分

総合領域

講義コード	80210003
講義名	助産学実習（別枠開講）
(副題)	
開講責任部署	別科助産専攻
代表ナンバリングコード	
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	11
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	有
実務経験のある教員の経歴と授業内容	助産師経験のある教員が臨床指導者と連携し、分娩介助、保健指導等の技術実践をサポートしてゆく。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	木村 優子	指定なし
教員	古賀 裕子	指定なし
教員	櫻井 加奈	指定なし

授業の概要と教育目標

妊娠期、産褥期・新生児期・乳児期の助産診断とケアに必要な技術をEBM、NBMの視点から実習を通して修得する。受け持った対象の個別性をとらえ、備えている能力や機能を発揮できるような支援する技術と知識、態度を養うことを目標とする。

* 産科棟実習においては正常経過が予測される妊産褥婦及び新生児を受けもち、一連の助産過程を通して援助を展開し、評価、考察を行い次のケアへとつなげる。分娩期においては10例の分娩介助を行い、それぞれの分娩、産褥、新生児などの助産過程が展開できることを目標とする。また、そのうち1例は妊娠中期以降、可能な限り長期に受け持ち、産婦に合わせて分娩期に寄り添い、分娩介助後は退院迄及び1ヶ月健診までの母児のケアと健康診査を行い、個別保健指導を中心とする助産過程を展開する。

* リーダーまたは師長の業務観察を通して日常の助産管理の実際を学びカンファレンス後、レポートにまとめる。

* NICUに入院している児の特徴とケアの方法を学ぶ。

* 地域の妊婦とその家族に向けての集団指導と乳児健診を見学し、妊婦、乳児、家族への切れ目のない支援の方法を学ぶ。

なお、この科目は、受胎調節実地指導員講習の必修科目「実習」に該当している。

卒業認定・学位授与の方針との関連

別科助産専攻のディプロマ・ポリシーとの関連として、EBM(Evidence Based Midwifery)、NBM(Narrative Based Midwifery)の視点から、母子の健康レベルに応じた的確な支援・指導技術の習得と多様な対象の個別性の理解を深め、自己の助産観の基盤を培うことを目指すものである。

到達目標

1. 対象者の発達課題や背景を把握し、助産計画を立案できる。
2. 妊婦・産婦・褥婦・新生児および家族を統合的に理解し、援助できる。
3. 正常分娩を安全に介助できる。
4. 助産管理に関して知識、関心を深める。

5. 地域における保健医療チームと助産師の連携、役割と責務を理解した上で活動に参加し、実践できる。

6. NICUにおける児の生理的特徴やケアの実践、助産師の役割を理解することができる。

授業計画

授業内容と方法、課題	
第1回	分娩介助実習 10例の分娩介助(分娩1期から4期)を助産診断のもと、実施する。1例毎の分娩介助技術を担当者と振り返りを行うとともに、3日以内に助産過程を記録にまとめ提出する。1例毎に教員が記録指導を行うので課題を明確にし次回に生かす。
第2回	継続受持実習 1例の妊婦の承諾を得て妊娠期から産後1か月を受け持ち、妊娠期、分娩期、産褥期、新生児期の保健指導、並びに分娩介助・産褥・育児・新生児ケアを指導者や教員とともに実施する。その都度の実践時に指導を行うが、助産過程を経過毎に記述記録をまとめ教員に提出する。後日、コメントや修正点を伝える。
第3回	間接介助実習 分娩介助者の介助と新生児のケアを行う。直接介助者と協力し安全に、速やかに進行できるようにコミュニケーションを密にとり実施する。
第4回	管理実習 実習病棟師長またはリーダーの1日の行動を観察し、カンファレンスで考察する。時間が空いたところで、指導者と振り返り、質疑応答を行う。
第5回	地域実習 保健センターで開催している乳児健診を見学する。見学記録を指導者に提出し、指導者のコメントが入ったものを教員に提出する。
第6回	NICU実習 NICU病棟で2日間の実習を行う。オリエンテーション時、児の生理的特徴や環境の調整、ケアの実践における注意事項を学び、実践を通してケア方法を学ぶとともに家族への看護について考察する。カンファレンスでの発言を通して学びを発表する。実習記録を教員に提出する。
第7回	見学実習 帝王切開術、新生児ケア見学後、担当教員に実習記録を提出する。

教科書

資料：桐生大学別科助産専攻 助産学実習要項、桐生大学別科助産専攻 助産診断類型と診断指標

参考書

実習図書：有

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上、分娩記録(助産過程45%・技術25%) 継続事例30% NICU実習記録・地域実習記録・管理実習レポートを考慮する。(臨地実習の状況により変更あり)

課題等に対する

フィードバックの方法

分娩介助記録は3日以内に教員に提出しコメントを得て、速やかに次の分娩介助に生かしてゆくこと。

履修のポイント

積極的に対象との関わりを持つことで沢山の学びが生まれます。メンバーシップも重要な課題となります。

オフィス・アワー

kimura-yu@kiryu-u.ac.jp koga-yu@kiryu-u.ac.jp sakurai-ka@kiryu-u.ac.jp

科目区分

実践領域

